

令和4年度における行政の主な取り組みおよび令和5年度における取り組み予定

資料 1

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
1 ころの健康	【施策1】 ストレス解消や睡眠による休息等に係る普及啓発	ライフステージに応じて、ころの健康やストレス解消、睡眠や休養などに関する普及啓発を行います。	健康づくり推進室	母子健康診査事業	引き続き、1歳6か月児健診案内に同封するピラによる睡眠・休養に関する啓発を行う。ほめ方、指示の出し方、ストレスコントロールに関する啓発ピラを作成し、健診時に配布する。	【実績】 ・1歳6か月児健診案内時の啓発 対象者数：968件(12月末実績) ・1歳6か月児健診の保護者向けにストレス対処等についてリーフレット作成、11月～健診受診者へ啓発 11月～健診受診者数：210件(12月末実績) 【評価・課題】 保護者が課題に感じていなくても知ってもらえる機会となっており、また子どもの成長に応じよある育児の困りごととからめ伝えることができています。	引き続き、1歳6か月児健診案内に同封する啓発ピラによる睡眠・休養に関する啓発および、保護者向けへほめ方やストレス対処に関するリーフレットを用い啓発を行う。
				母子健康教育・相談事業	引き続き、メンタルヘルスに関するリーフレットを妊娠届出時に配布し啓発。必要に応じ産婦健診の状況を踏まえ、リーフレット内容を変更する。	【実績】 母子健康手帳交付の面接時、メンタルヘルスに関するリーフレットを配布し、妊娠中からのメンタルヘルスについての意識付けを行った。 母子健康手帳交付数：855件(12月末実績) 【評価・課題】 妊娠届出時の面接で全数に配布することで、妊娠初期より、メンタルヘルスの意識付け、啓発に繋がっている。	
			高齢介護室	介護予防教室	・介護予防教室の講話の中や、地域の自主活動団体への専門職の訪問時に啓発を行う。 ・自殺予防週間や月間の教室実施時に情報提供を行う。	【実績】 長引くコロナ禍と自粛生活で、高齢者が閉じこもり傾向にある中、社会的つながりや、人との交流が介護予防にも重要であることを伝えた。 介護予防教室5種(認・運・生・おためし・のびのび) 参加者数実人数152名(12月末時点) 市民向けゲートキーパー研修の周知を介護予防教室参加者や認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座等で行った。また自殺予防週間時に地域包括支援センター等を通じて周知を行った。 【評価・課題】 自粛生活の長期化で、高齢者の活動量の低下や閉じこもりによる認知機能の低下や社会的交流の減少が引き続き課題となっている。感染対策を講じながら、高齢者が社会参加できるように、より一層、ころの健康等に関する知識の普及啓発が必要と考える。	・介護予防教室の講話の中や、地域の自主活動団体への専門職の訪問時に啓発を行う。 ・自殺予防週間や月間時に介護予防教室等で情報提供を行う。
			学校教育室	健康教育・体力向上推進事業	引き続き、養護教諭を中心に児童生徒に対して、ころの健康について指導を実施し、睡眠や休養の重要性についても家庭に周知・啓発していく。	【実績】 各学校にて、養護教諭を中心にころを健やかに保つための方法や工夫についての指導を実施し、睡眠や休養の重要性について家庭に通信等を配付し、ころの健康に関する啓発を行った。 【評価・課題】 コロナ禍で子どもたちの睡眠等の生活リズムの乱れ等も見られる中、粘り強く各校で取り組みを行うことができた。	引き続き、養護教諭を中心に児童生徒に対して、ころの健康について指導を実施し、睡眠や休養の重要性についても家庭に周知・啓発していく。
			こども未来室	(特定の事業なし)	保育を通して子どもたちにもわかりやすく睡眠、休息の大切さを伝えていきます。送迎の時間なども利用し保護者にも周知、啓発に努める。	【実績】 公立保育園9園、公立幼稚園2園を通じ必要に応じ周知、啓発に努めた。子どもたちにも保健指導などで分かりやすく伝えることに努めた。 【評価・課題】 必要に応じて送迎時などに保護者への周知を行えた。	引き続き、保育を通して子どもたちにもわかりやすく睡眠、休息の大切さを伝えていく。送迎時や行事なども利用し、幅広く保護者にも周知、啓発に努める。
			健康づくり推進室	母子健康教育・相談事業	・引き続き、妊婦教室にて、妊産婦向けころの体温計のリーフレットを使用し、マタニティブルー・産後うつ、産後の睡眠や休養の重要性について啓発 ・引き続き、親子教室にて、ストレスコントロールの講話を実施し、啓発を行う。 ・地域の健康教育時に、ストレスコントロールや睡眠、休養に関する啓発を行う。 ・親子教室で、ストレスコントロールの講話を実施し、啓発を行う。	【実績】 ・妊婦教室にてメンタルヘルスに関するリーフレットを使用し、マタニティブルー・産後うつ、産後の睡眠や休養の重要性について啓発を行った。 妊婦教室参加者数：136件(12月末実績) ・親子教室にて、ストレスコントロールの講話を実施し、啓発を行った。 ・地域の健康教育として、小学生に睡眠、休養に関する啓発を行った。 【評価・課題】 妊娠中から産後を通して意識付け、啓発に繋がっている。また、小学校での健康教育では、児童だけでなく、先生にも啓発することができた。	・引き続き、妊婦教室や親子教室等の機会にストレスコントロールや睡眠、休養に関する啓発を行う。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
1 こころの健康	【施策1】 ストレス解消や睡眠による休息等に係る普及啓発	各種保健事業等を通じて安心して相談できる相談機関・窓口の周知を行います。	人権・男女参画室	女性問題総合相談事業	引き続き、女性が日常生活で直面する様々な問題や悩みについて、当事者が解決できるよう支援するために、相談事業(カウンセリング・法律相談・電話相談・面談)を実施。 また広報いずみ、モアいずみ通信、市ホームページに相談窓口を掲載し、また連携する課の相談窓口や公共施設の女子トイレに設置したリーフレットを活用することで、継続的に相談窓口の周知を行う。	【実績】 女性問題総合相談事業(R4)※R4.12末現在 ○法律相談:毎月第4火曜日午後1時～4時 相談件数:30件 ○カウンセリング:毎月第2・4火曜日 午後1時～5時 相談件数:72件 ○電話相談:毎月第1～4水曜日 午前10時～正午・午後1時～3時 毎月第1～4木曜日 午後6時～8時 相談件数:218件 ○【女性相談員によるDV相談】 月曜日～金曜日 午前10時～正午 午後12時45分～午後4時(※土・日・祝・年末年始は除く) 相談件数:160件(※※R4.11末現在。DV相談以外も含む) 【評価・課題】 広報いずみ等での周知や庁内の関係窓口等からの紹介などにより、悩みを抱える相談者を窓口につなぐことができた。今後も日常生活で直面する様々な問題や悩みを抱える女性の相談者が増えると予想されるため、引き続き相談窓口の周知に努めたい。	引き続き、女性が日常生活で直面する様々な問題や悩みについて、当事者が解決できるよう支援するために、相談事業(カウンセリング・法律相談・電話相談・面談)を実施。 また広報いずみ、モアいずみ通信、市ホームページに相談窓口を掲載し、また連携する課の相談窓口や公共施設の女子トイレに設置したリーフレットを活用することで、継続的に相談窓口の周知を行う。
				人権擁護推進事業	引き続き、毎月第1・第3月曜日(年間22回)の人権相談と憲法週間・人権週間・擁護委員の日になんだ特設相談(計3回)を実施する。 また、広報いずみ、市ホームページ、人権のちらし等に掲載する。	【実績】 人権擁護推進事業 ○人権擁護委員による相談 毎月第1・第3月曜日 午後1時30分～午後3時30分(※祝・年末年始除く) 憲法週間・人権週間・擁護委員の日になんだ特設相談 午前10時～正午 【実績】 相談回数:24回(内、特設相談3回) 相談件数:4件 【評価・課題】 ホームページやちらし等により、人権相談の周知を強化することで市民に相談先の選択肢を増やすことができた。 今後もより多くの市民に周知できるように工夫する。	引き続き、毎月第1・第3月曜日(年間22回)の人権相談と憲法週間・人権週間・擁護委員の日になんだ特設相談(計3回)を実施する。 また、広報いずみ、市ホームページ、人権のちらし等に掲載する。
				人権文化センター総合生活相談事業	引き続き、進路選択を含む、総合生活相談事業(心理カウンセリング・総合生活相談)を実施。また集会所など、人権文化センター以外への場所にも出向き継続的に相談を行う。 周知方法については、広報いずみ、プラザだより、プラザニュースに相談窓口を掲載する。 また、オンラインによる相談実施も検討したい。	【実績】 総合生活相談事業 ○総合生活相談:月～金【9:00～17:15】 ※祝・年末年始除く ○心理カウンセリング:毎月第2・第4火曜日【13:00～16:00】 【実績】延べ件数(令和4年12月末時点) 総合生活相談:344件 心理カウンセリング:44件 【評価・課題】 コロナ禍で来館での相談件数は減少しているものの、来館による相談ニーズは一定数あるので、対応策の検討が必要。 また、令和4年6月末の「和泉市インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例」の制定に伴い、インターネット上での誹謗中傷で悩む方に対する相談体制を構築していくことが必要。	また、広報いずみ、市ホームページ、人権のちらし等に掲載する。
			くらしサポート課	就労支援事業	チラシ等で無料職業相談センターの周知を行う。 相談内容に適した窓口の情報提供を行う。	【実績】 就職に関するセミナーでの無料職業紹介センターの周知や、オンライン就労相談の利用者への近隣のセンター窓口の案内を行った。 センター利用者に対し、相談内容に沿った窓口を案内した。 セミナー参加者数:7人(1/11現在) オンライン相談利用者数:1人(1/11現在) 【評価・課題】 無料職業紹介センターについて、セミナー参加者やオンライン相談利用者にも周知を行うことができた。	チラシ等で無料職業相談センターの周知を行う。 相談内容に適した窓口の情報提供を行う。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
1 こころの健康	【施策1】 ストレス解消や睡眠による休息等に係る普及啓発	各種保健事業等を通じて安心して相談できる相談機関・窓口の周知を行います。	健康づくり推進室	母子健康教育・相談事業	引き続き、精神科や心療内科、カウンセリング機関などの情報を集約し、リストを整理していく。	【実績】 精神科や心療内科、カウンセリング機関などの情報を集約し、随時リストを更新し、情報共有を行った。また、相談機関リストを活用しながら支援を行った。 【評価・課題】 個別ケースの支援等を通じて、精神科等の情報収集を行い、支援に活用することができた。	引き続き、精神科や心療内科、カウンセリング機関などの情報について随時、リストを更新していく。また、ケースを通じて、医療機関との関係構築に努める。
				一般健康教育相談事業	ヘルシー運動教室、ヘルスアップサポーターいずみ定例会の学習会、特定健診結果説明会、地域健康教育時に引き続き相談窓口の案内を行う。	【実績】 ヘルシー運動教室2回、特定健診結果説明会5回実施し、相談機関・窓口の周知を行った。ヘルスアップサポーターいずみ定例会の学習会は2月に予定。 【評価・課題】 毎年周知の機会を持つことで、相談窓口があるという認識の向上につながっている。	ヘルシー運動教室、ヘルスアップサポーターいずみ定例会の学習会、特定健診結果説明会、地域健康教育時に引き続き相談窓口の案内を行う。
			福祉総務課	地域福祉推進事業	地域福祉総合相談員(CSW)の配置を継続します。 新型コロナの影響により、地域のサロンの延期など地域活動が停滞し、地域からの相談が減少傾向にあるため、現在CSWが関わる地域活動以外の場所や人とのネットワークづくりや、コロナ禍で地域の活動者とのように関わり支援に繋げるか検討したうえで、取り組んでいきます。	【実績】地域福祉総合相談員(CSW)の配置を継続し、地域包括支援センターなどの各関係機関と連携強化のため、継続的に協議を行いました。また、地域からの個別相談を把握するため、いきいきサロンや各種会議等に参加し情報把握に努めました。 【令和4年12月末相談実績】 496件 【令和4年12月末対応延べ件数】 4,499件 【評価・課題】 対応延べ件数が昨年同月実績と比べて減少しています。社会的孤立者等が社会とのつながりができるよう気軽に参加できる場づくりが課題です。	地域福祉総合相談員(CSW)の配置を継続します。地域のサロンや会議等の地域活動に積極的に参加し、地域の活動者へCSWの役割等を周知し要支援者の発見などに繋がります。また、社会的孤立者等が参加しやすい環境を作るため、要支援者へのアウトリーチや関係構築方法の検討、居場所づくりに取り組んでいきます。
					高齢介護室	総合相談	・「70歳到達者への介護予防啓発」や「認知症サポーター養成講座」の中で、地域包括支援センターなどの相談機関を周知する。 ・改訂版認知症ケアパスを広く配布し、市民に活用してもらう。
			障がい福祉課	障がい者福祉啓発事業	基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センターについて、障がい福祉課だよりやホームページなどを通じて、周知を行います。	【実績】 基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センターについて、ホームページなどを通じて、周知を実施した。また、窓口において案内を行なった。 【評価・課題】 引き続き周知を継続していく。	基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センターについて、障がい福祉課だよりやホームページなどを通じて、周知を行います。
			学校園管理室	就学時健康診断時における相談	・各種検診業務を通じ、児童・生徒の健康管理に努めるとともに必要に応じ適切な助言を行い、不安解消及びストレスの軽減に努める。	【実績】 健診会場である各学校において、管理職等による相談窓口を設置した。 【評価・課題】 学校に初めて来校する就学時健康診断の機会を利用し、保護者が必要に応じ、相談できる環境を整えることができた。 次年度においても、同様の対応を継続する必要がある。	各種検診業務を通じ、児童・生徒の健康管理に努めるとともに必要に応じ適切な助言を行い、不安解消及びストレスの軽減に努める。
			子育て支援室	子育てなんでも相談事業	子ども家庭相談員により、児童や家庭に関する相談に応じます。 また、広報・ホームページ其他媒体により、子ども家庭相談についての周知を図ります。	【実績】 公認心理師の国家資格を有する職員を新たに1名増員、児童及びその保護者からの相談に適宜対応した。 4月1日より和泉市子ども家庭総合支援拠点を設置、広報・ホームページにおいて、子ども家庭相談に関する相談先として掲載する等、周知を図った。 【評価・課題】 こどもの貧困やヤングケアラー等、児童を取り巻く新たな社会問題については、保護者の子育て支援だけでなく、児童に対しての直接的な支援が求められる。児童自ら相談しやすいような体制の整備等に向けて今後も取り組んでいく必要があると認識している。	和泉市子ども家庭総合支援拠点として、社会福祉士や公認心理師といった専門職を配置、児童及びその家庭からの相談に応じます。 広報・ホームページ其他媒体により、子ども家庭相談についての周知を図ります。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
1 こころの健康	【施策1】 ストレス解消や睡眠による休息等に係る普及啓発	各種保健事業等を通じて安心して相談できる相談機関・窓口の周知を行います。	こども未来室	保育所等育成事業	保育園において日頃より話しやすい関係作りをし、相談窓口となるよう努め、「つなぐ表」等を利用し専門の相談機関・窓口の周知を行う。	【実績】 公立9園の保育園において日頃より話しやすい関係作りをし、相談窓口となるよう努め専門の相談機関や窓口の周知を行った。「つなぐ表」を各園に置き、情報共有をおこなった。 【評価・課題】 必要に応じて、「つなぐ表」を利用して相談機関や窓口の周知を行った。	保育園において日頃より話しやすい関係作りをし、相談窓口となるよう努め、「つなぐ表」等を利用し専門の相談機関・窓口の周知を行う。
				幼稚園育成事業	幼稚園において日頃より話しやすい関係作りをし、相談窓口となるよう努め、「つなぐ表」等を利用し専門の相談機関・窓口の周知を行う。	【実績】 公立2園の幼稚園において日頃より話しやすい関係作りをし、相談窓口となるよう努め専門の相談機関や窓口の周知を行った。「つなぐ表」を各園に置き、情報共有をおこなった。 【評価・課題】 必要に応じて、「つなぐ表」を利用して相談機関や窓口の周知を行った。	幼稚園において日頃より話しやすい関係作りをし、相談窓口となるよう努め、「つなぐ表」等を利用し専門の相談機関・窓口の周知を行う。
		生きがいつくりや趣味に関する活動に取り組める場や機会づくりを進めます。	公民協働推進室	コミュニティ活動支援事業 いずみ市民活動支援事業 伝統行事継承事業	町会連合会においては、令和4年度の広報誌の特集記事の作成のための取材等を進め、町会連合会の周知及び加入促進に努める。 また、市民活動推進支援事業においては、支援対象団体に支援金を交付し、市民活動団体の活性化及びその活動の促進を図っていく。	【実績】 町会連合会において、新たな委員で活性化委員会を立ち上げ、広報いずみ2月号に町会・自治会の特集記事を掲載し、町会連合会の周知及び加入促進に努めた。 和泉市市民活動推進支援事業において、市民活動団体に支援金を交付し市民活動の活性化及び促進を図った。 【評価・課題】 町会連合会においては、広報いずみ2月号に町会・自治会の特集記事を掲載することができたが、記事作成のために行った市民アンケートにて、あらゆる課題が浮き彫りになった。 和泉市市民活動推進支援事業においては、昨年度は新型コロナウイルスの影響で事業を中止・縮小した団体が多くあったが、今年度は対策をとりつつ事業を実施する団体が増え、活性化及び促進を図ることができた。	町会連合会においては、引き続き加入促進に努めるとともに、各町会・自治会の課題解決や役員負担等新たな視点で、町会連合会の周知及び加入促進に努める。 市民活動推進支援事業においても引き続き支援対象団体に支援金を交付し、市民活動の活性化及び促進を図る。
		高齢介護室	ふれあい食事サービス助成事業	団体としては、再開できる状態になれば再開する予定である。実施団体が活動を継続できるよう支援する。	【実績】 新型コロナウイルス感染症の影響で開催されず 【評価・課題】 活動内容が地域住民と一緒に食事を作り食べることであり、一定感染対策をしても再開が難しい。現状コロナウイルスの感染状況も落ち着かず、食事を通しての地域の集いを行っていくことは難しいため実施団体が事業廃止。活動予定の団体が無くなったため事業を廃止。	現状コロナウイルスの感染状況も落ち着かず、食事を通しての地域の集いを行っていくことは難しいため実施団体が事業廃止。活動予定の団体が無くなったため事業を廃止。	
			在宅高齢者福祉対策事業 介護予防教室 老人クラブ補助事業 生活支援体制整備事業	・いきいきいずみ体操の周知と、新規団体立ち上げ ・既存の団体の支援(体力測定・療法士派遣・交流会) ・地域への介護予防教室の開催(地域出張型介護予防教室) ・おたがいさまサポーター事業の新規見守りサービスの開始、周知	【実績】 ・いきいきいずみ体操新規立ち上げ7団体 (R4.12月現在 総数89団体、活動団体83団体) ・おたがいさまサポーター事業 サポーター登録者数290名(活動件数56件) 教室 6か所開催(予定も含む) 【評価・課題】 ・新規立ち上げについて、今年度は7団体あった。今後もいきいきいずみ体操についての周知をおこなっていく。 ・新規サービスとして「あったか訪問」をモデル的に開始した。 またサポーターへアンケートをとり、今後どの活動ができるか、活動を継続できるか調査を行った。 現況、オンライン上で交流会を実施しているが、今後大交流会などサポーター同士交流できる場をコロナの状況をみながら検討していく。	・いきいきいずみ体操の周知と、新規団体立ち上げ ・地域出張型介護予防教室の周知啓発・開催。新たな団体を対象とするよう、周知に力を入れる。 ・新規サポーター確保、市民、専門職に向けて事業周知をすすめる。	
障がい福祉課	障がい者自立支援地域生活支援事業	地域活動支援センターにおいて、生きがいつくりや活動の場を提供します。	【実績】 地域活動支援センターにおいて、生きがいつくりや活動の場を提供し、障がいのある人の日常生活や社会参加などの支援を行なった。 【評価・課題】 引き続き支援を継続する。	地域活動支援センターにおいて、生きがいつくりや活動の場を提供します。			

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
			生涯学習推進室	生涯学習講座事業	生きがいづくりや世代を超えた市民相互の交流を図るため、引き続き事業を継続する。 華道1教室、茶道3教室、箏曲2教室を開催予定。	【実績】 華道1教室、茶道3教室、箏曲2教室を開催。 年間受講者数 6教室 計45名。 【評価・課題】 コロナ感染対策のうえ10代から70代まで様々な世代に受講いただき、教室を通じての交流、生きがいづくりができた。	生きがいづくりや世代を超えた市民相互の交流を図るため、引き続き事業を継続する。 華道2教室、茶道3教室、箏曲2教室を募集し、開講人数を満たした教室を開催予定。
1 ころの健康	【施策1】 ストレス解消や睡眠による休息等に係る普及啓発	生きがいづくりや趣味に関する活動に取り組める場や機会づくりを進めます。	健康づくり推進室	高齢者・障がい者自立生活支援事業	・新型コロナの感染拡大状況により、各講座の募集人数を可能な限り増加させる。 ・障がい者の教養講座の実施回数を1回増やし10回とする。 ・高齢者、障がい者団体への部屋の貸し出しを継続 ・障がい者の教養講座は、次年度のスケジュール調整時に各講座の実施時期を変更する。	【実績】 ・高齢者及び障がい者の教養講座は、募集人数を昨年同様に定数の半数で実施し、手話講座は15人から20人に増やして実施した。 ・障がい者の教養講座は、実施回数を1回増やし4講座で10回実施した。 ・高齢者と障がい者の個人利用と団体利用は、感染対策により継続して実施した。 【評価・課題】 ・高齢者の教養講座は、令和5年度から「絵を楽しもう」を中止し、「健康ヨガ」を通年で実施するよう調整が整った。 ・障がい者の教養講座は、令和5年度から「フラワーアレンジメント」と「貼り絵ちぎり絵」の実施時期を変更するよう調整が整った。 ・新型コロナ感染症の収束のめどが立たず、修了記念文化祭の実施について受講者や講師、主催者の意見が別れた。	・高齢者の教養講座は、「絵を楽しもう」を中止し、「健康ヨガ」を通年で実施する。 ・障がい者の教養講座は、「フラワーアレンジメント」と「貼り絵ちぎり絵」の実施時期を変更する。 ・手話講座は、前期課程の講座回数を北部総合福祉会館と整合させて21回で実施する。 ・高齢者と障がい者の個人利用と団体利用は、感染対策により継続して行う。 ・修了記念文化祭は新型コロナ感染症の拡大状況や対応状況に応じた形式で実施する。
	【施策2】 「いのち支える 和泉市自殺対策行動計画」に基づく自殺対策の推進	健康づくりの視点を踏まえ、「いのち支える 和泉市自殺対策行動計画」の推進を図ります。	健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	・市職員向けについては上級編を新設するとともに、保育士向けを民間園へ拡げる。養護教諭向けで事例検討などより実践的な内容を行うとともに、教員向けについてはSOS教育なども見据え今後の展開を教育委員会と検討していく。 ・市民向けについては民生委員向けを新たに調整予定。 ・庁内連絡会議においては、事例検討を通じて保健所や消防、関係課と未遂者支援における連携のあり方を検討するにあたっての課題を整理する。また、重層化支援体制整備事業の立上げに向けた動向についても注視しながら、自殺対策との重なりや位置づけなどを確認する。	【実績】 ・職員向け(初級):4回120名、職員向け(中級):2回56名、職員向け(上級)及び相談職向け:1回61人、生徒指導向け:10名、市民向け:2回37名のゲートキーパー研修を実施。(12月末実績) ・庁内連絡会議においては、事例検討を通じて保健所や消防、関係課と未遂者支援における連携の課題を整理した。また、重層化支援体制整備事業と自殺対策の重なりや位置づけなどを確認した。 【評価・課題】 ゲートキーパー研修については、職員上級編と相談職向けを合わせて新設。民間事業所も参加しやすいよう、オンラインでも参加できる体制にしたことで、参加者が増加。 保育士向けも民間園に対象を拡げることができ、教員向けについても生徒指導向けを新たに実施するなど、新規開拓ができた。 民生委員向けは改選後すぐとのことで年度内での開催は難しく、次年度実施に向け調整中。 庁内会議において明らかになった課題を元に、次年度は第2期自殺対策計画の策定に向けて具体的な取り組みを検討していく。	・市職員向けについては初級編の全職員受講を目指すとともに、中級編上級編含め第2期計画での展開イメージを検討する。 ・保育士向けは民間園が参加しやすいようオンラインでも参加できる体制とし、教員向けについてはSOS教育なども見据え今後の展開を教育委員会と検討していく。 ・市民向けについては民生委員向けを実施するとともに、第2期計画での展開イメージを検討する。 ・第1期計画における取り組みで明らかになった課題を踏まえ、第2期計画策定に向けて具体的な取り組みや連携の仕組みについて検討する。
2 身体活動・運動	【施策1】 身体活動量の増加や運動を習慣化するための対策の推進	子どもの頃から身体を動かす習慣を身につけることができるよう、保育所・幼稚園・こども園、小・中学校での取り組みを進めます。	学校教育室	健康教育・体力向上推進事業	・小学校体育主任会を開催し、水泳記録会・陸上競技大会を実施する。 ・体力向上事業を実施し、児童の運動が習慣化するような体育の備品や消耗品を配付し、環境整備を図る。 ・体育実技研修を開催し、指導力向上を図る。 ・保健主事部会を開催し、小中連携して体力向上を図る。	【実績】 ・小学校体育主任会を開催し、小学校水泳記録会、小学校陸上競技大会を実施した。(小学校水泳記録会8月2日実施。小学校陸上競技大会10月15日実施。) ・体力向上事業を実施し、児童の運動が習慣化するような体育備品や消耗品を配付した。(14校) ・体育実技研修は小学校教員向けに実施。(11月29日実施。講師:大阪体育大学小林准教授、体づくり運動など。) ・保健主事部会について2回実施。(1回目は6月、2回目は1月実施予定)各校の健康づくりについて交流を行った。 【評価・課題】 コロナ禍であったが、感染対策を取りながら工夫して実施することができた。	・小学校体育主任会を開催し、水泳記録会・陸上競技大会を実施する。 ・体力向上事業を実施し、児童の運動が習慣化するような体育の備品や消耗品を配付し、環境整備を図る。 ・体育実技研修を開催し、指導力向上を図る。 ・保健主事部会を開催し、小中連携して体力向上を図る。
			こども未来室	保育所等育成事業 幼稚園育成事業	保育園・幼稚園において、発達に合わせた運動に取り組む。遊びの中で体を動かす事が楽しいと感じるような活動や習慣化するような取り組みをし、いろいろな経験を積み重ねる。園外に出なくても体を動かせるようにさらに工夫をする。	【実績】 公立保育園9園・公立幼稚園2園において、発達に合わせた運動に取り組んだ。遊びの中で体を動かす事が楽しいと感じるような活動や習慣化するような取り組みをし、いろいろな経験を積み重ねた。 【評価・課題】 コロナ感染対策を講じながら、園外散歩に出かけ、歩く機会を増やせたが、園内でも偏りのないよう運動遊びを取り入れている。	保育園・幼稚園において、発達に合わせた運動に取り組む。遊びの中で体を動かす事が楽しいと感じるような活動や習慣化するような取り組みをし、いろいろな経験を積み重ねる。園内であっても偏りのないよう運動遊びを取り入れ、楽しく体を動かせるよう工夫をする。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
		身近な運動として「歩く」ことの周知・啓発に取り組みます。	健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	・身近な運動として「歩くこと」を推進するため、健康まつりや特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室やヘルスアップサポーターいずみ定例会・地域健康教育などで健康ポイント事業の活用を通じ、歩くことによる身体へのメリットの周知・啓発周知・啓発を行う。また、ウォーキングイベントを開催する。	【実績】 ・健康づくりポイント事業の継続実施 健康ポイント事業検診無料券発行数104件(12月末実績) * 令和3年度発行数64件 ・コロナ禍にて健康まつりは中止。ヘルシー運動教室、ヘルスアップサポーターいずみ定例会・イベント時、特定健診結果説明会で歩くことによる身体へのメリットの周知・啓発を実施 健康ポイントウォーキング開催回数 1回(12月末実績) 教室等での啓発 9回(12月末実績) 【評価・課題】 ヘルサポ活動を通じて、市民への啓発の機会が増えた。運動に関連した教育・教室を通して周知・啓発を行っていく。	・健康ポイントウォーキングの継続実施。 ・健康まつりや特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室やヘルスアップサポーターいずみ定例会・地域健康教育などで健康ポイント事業の活用を通じ、歩くことによる身体へのメリットの周知・啓発周知・啓発を継続。
2 身体活動・運動	【施策1】 身体活動量の増加や運動を習慣化するための対策の推進	各種保健事業において、気軽に取り組める運動の情報提供や運動の習慣化につながるような教室の開催、個別相談などを行います。	健康づくり推進室	母子健康診査事業 母子健康教育・相談事業	・引き続き、3歳6か月児健診の案内に、継続して気軽に取り組める運動方法や「歩く」ことに関する啓発チラシを同封し、周知に努める。 ふれあいっこや親子教室、地域での教室等で幅広く活用して、ふれあい遊びの重要性を伝える。	【実績】 ・3歳6か月児健診の案内に、気軽に取り組める運動方法や「歩く」ことに関する啓発チラシを同封し、周知に努めた。 対象者数:1015人(12月末実績) ・子どもロコモ、乳幼児期の「心と体を育む運動遊び」についての媒体を作成し、乳幼児健診やふれあいっこ、親子教室、いずまる赤ちゃんくらぶの機会に啓発を行った。 【評価・課題】 ・遊びを通して体を動かす楽しさや日常生活の中で「歩く」ことに関し意識を向けるきっかけになっている。 ・子どもの月齢に応じた、ふれあい遊びの啓発が行えた。	・引き続き、3歳6か月児健診の案内に、継続して気軽に取り組める運動方法や「歩く」ことに関する啓発チラシを同封し、周知に努める。 ・作成した、子どもロコモ、乳幼児期の「心と体を育む運動遊び」についての媒体を、乳幼児健診やふれあいっこ、親子教室、いずまる赤ちゃんくらぶ、地域での教室等で幅広く活用して、ふれあい遊びの重要性を伝える。
			健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	・ヘルシー運動教室や健康教育(健康ポイント事業ウォーキングイベント、ヘルサポウォーキングイベント)の機会を活用し、ココロいずみダンスや健康ポイント事業周知の継続 ・骨密度検診や特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室などで個別相談を継続 ・日常からの運動習慣に繋がる手軽なきっかけとしてココロいずみダンス運動動画の情報提供	【実績】 ・新たにお手軽チラシを作成し子育て層や関係機関へ周知・啓発。 ・ヘルシー運動教室開催回数 28回(12月末実績) 健康ポイントウォーキング開催回数 1回(12月末実績) ヘルサポウォーキングイベント開催回数 1回 ヘルサポ養成講座・定例会での周知啓発 12回(12月末実績) ココロいずみダンスYOUTUBE視聴数 9999回(12月26日時点) ・個別相談実施回数 20回(12月末実績) 【評価・課題】 コロナ感染対策のうえ活動再開し実績増加。あらゆる世代に啓発が行えている。	・ヘルシー運動教室や健康教育(健康ポイント事業ウォーキングイベント、ヘルサポウォーキングイベント)の機会を活用し、ココロいずみダンスや健康ポイント事業周知の継続 ・骨密度検診や特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室などで個別相談を継続 ・日常からの運動習慣に繋がる手軽なきっかけとしてココロいずみダンス運動動画の情報提供
			保険年金室	運動教室	・市施設利用型運動教室の事業の周知を通じ、日ごろから気軽に活動量を増やす場の情報提供をする。 ・運動教室の講話、個別面接時に、健診結果の見方や生活習慣との関係性を伝え、必要に応じて個別相談を継続していく。 ・運動教室終了後も安全に継続して運動ができるように正しい運動方法を指導する。 ・コロナ禍の中でも運動教室を実施できるように、個別支援を取り入れて継続していく。 ・より運動習慣定着化を図り、気軽に参加できるよう、6か月コース→4か月コースにプログラムを変更する予定。	【実績】 市施設利用運動教室参加者: R3年度受診者 5クール実施 実61人 R4年度受信者 2クール実施 実24人(R4.12月末時点) 定員を15名とし、感染対策を行いながら、集団支援の形態で実施。 R4年度受診者から、1クール4か月、全12回コースで実施。 BMI基準以上の肥満者や、糖尿病腎症重症化予防事業参加者にも運動教室を案内し、参加を促した。 【評価】 特定保健指導該当者には、健診結果をもとに、運動及び栄養に関する個別指導を実施。活動計を貸し出ししていることで、教室以外でも運動習慣化の意識を高められている。 【課題】 体重・体脂肪率などの数値は概ね改善されている人が多いが、個人・クールによりばらつきがある。運動継続が難しくなりそうなタイミングでの効果的なアプローチを行う必要がある。	・市施設利用型運動教室の事業の周知を通じ、日頃から気軽に活動量を増やす場の情報提供をする。 ・運動教室の講話、個別面接時に、健診結果の見方や生活習慣との関係性を伝える。 ・運動教室終了後も安全に継続して運動ができるように正しい運動方法を指導する。行動変容の定着化を図るため、参加者同士の交流や情報交換の機会を効果的に設ける。 ・コロナ禍の中でも運動教室を実施できるように、個別支援の形態も想定しておく。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
		介護予防や認知症予防の取り組みとして、運動器の機能向上に関する普及啓発を行います。	高齢介護室	介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきいずみ体操の周知と、既存の団体の支援(体力測定、療法士派遣、介護予防の情報提供)。 ・市内各地で介護予防教室を開催する。 ・自宅で介護予防の取り組みの必要性についての啓発。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきいずみ体操新規立ち上げ7団体 (R4.12月現在 総数89団体、活動団体83団体) ・介護予防教室5種(認・運・生・おためし・のびのび) 参加者実人数152名(R4.12月末時点) ・70歳・71歳到達者 4337名 <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、代表者交流会も実施し、既存の団体支援も行った。新型コロナウイルス感染状況によって、活動状況が不安定であるため、活動継続できるように支援を継続していく。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教室の定員は昨年度に引き続き縮小したままの運営となったが、教室終了後も自宅で出来る運動などの啓発を行った。また地域の通いの場を周知し、継続した介護予防の活動に繋げた。 70歳到達者にはボランティアの担い手としての参加など、介護予防活動量を増やすような取り組みについて啓発した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきいずみ体操の周知と、既存の団体の支援(体力測定、療法士派遣、介護予防の情報提供)。 ・市内各地で介護予防教室を開催する。 ・自宅で介護予防の取り組みの必要性についての啓発。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
2 身体活動・運動	【施策2】 「和泉市スポーツ推進基本計画」に基づく施策の推進	健康づくりの視点を踏まえ、「和泉市スポーツ推進基本計画」の推進を図ります。	生涯学習推進室	スポーツ普及振興事業	・感染症対策を講じたイベントの実施や、コロナ禍でもスポーツを身近に感じてもらえるような機会を提供していく必要がある。 ・ふれあいニュースポーツ教室を桃山学院大学だけでなく市内体育施設でも実施 ・ファミリー歩こう会、プロスポーツ観戦会、ニュースポーツフェスタなどの継続実施により、市民がスポーツを身近に感じることができるような機会を提供する。	【開催事業 参加者数】 ・春季ファミリー歩こう会(17人) ・市民ゴルフ大会(44人) ・ふれあいニュースポーツ教室(4月21人、5月12人、6月12人、11月12人、12月7人) ・セレッソ大阪市民観戦デー(144人) ・大阪エヴェッサ市民観戦デー(290人) 【評価・課題】 ・新型コロナウイルスの影響で、一部実施できない事業もあったが、開催方法を変えるなど感染対策を講じたうえで、開催可能なイベントは実施できた。また、市民観戦デーにおいては、新たにプロバスケットボールの観戦デーを実施することができた。(令和5年1月末時点) 今後も感染症対策を講じ、市民がスポーツを身近に感じることができる機会を提供していく必要がある。	・感染症対策を講じたうえでのイベントの実施や、スポーツを身近に感じてもらえるような機会を提供していく必要がある。 ・ふれあいニュースポーツ教室の開催時間を午後から午前に変更する等、既存のイベントも工夫して、参加者の増加に努める。 ・ファミリー歩こう会、プロスポーツ観戦会、ニュースポーツフェスタなどの継続実施により、市民がスポーツを身近に感じることができるような機会を提供する。
				健康増進・体力向上事業	感染症対策を講じた上で、 ・市内小中学校義務教育学校30校で体育施設開放を継続。 ・体力測定会の種目等内容の拡大を図る。	【実績】 ・新型コロナウイルスの影響により高齢者への利用自粛を依頼する期間はあったものの、学校と連携を図り、感染症対策を講じて開放を行った。 ・新型コロナウイルスの影響により体力測定会は中止となった。 【評価・課題】 体育施設開放は、感染対策を講じた上で、学校と連携を図り実施することができた。体力測定会は、3年連続での中止となり、今後は感染状況を注視しつつ、感染症対策を講じて実施を検討する必要がある。	感染症対策を講じた上で、 ・市内小中学校義務教育学校30校で体育施設開放を継続。 ・体力測定会の種目等内容の拡大を図る。
				健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	健康ポイント事業やココロいずみダンスを通じ、日常から気軽に活動量を増やすきっかけを提供する。	【実績】 ・健康ポイント事業による健診無料券交付数104件(12月末実績) * 令和3年度発行数 64件 ・ココロいずみダンスの実施 ヘルサポ定例会 5回(12月末実績) ヘルサポ養成講座 4回(12月末実績) ヘルシー運動教室 17回(12月末実績) ヘルサポウォーキングイベント 1回(12月末実績) 健康ポイントウォーキング 1回(12月末実績) 食育イベント 1回(12月末実績) YOUTUBE視聴数 10073回(12月末実績) 【評価・課題】 健診無料券交付数が前年の1.7倍に増え、歩きかけとなっている。
3 栄養・食生活	生活習慣病予防につながる食生活の改善にむけた対策の推進	ライフステージに応じて、各種保健事業等を活用し、栄養や食生活に関する情報提供に取り組めます。	一般健康教育事業	ヘルシー運動教室やヘルシー運動教室OB会活動支援、地域健康教育を通じ、栄養や食生活に関する情報提供を行い、日常から運動したり健康のことを考えたり周りに普及できるきっかけづくりを支援する。	【実績】 ヘルシー運動教室12月末で28回開催。(前期18回、後期10回) ヘルシー運動教室合同OB会1回実施(参加者58名)、OB会2回実施(参加者40名) 【評価・課題】 運動教室参加者がOB会を作って活動したり、健康ポイント事業に参加したりと、日常から運動し健康のことを考えるきっかけとなった。	ヘルシー運動教室やヘルシー運動教室OB会活動支援、地域健康教育を通じ、栄養や食生活に関する情報提供を行い、日常から運動したり健康のことを考えたり周りに普及できるきっかけづくりを支援する。	

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
			健康づくり推進室	母子健康診査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査で栄養士による個別相談を実施。 ・だしを活用したレシピを掲示し、情報提供する。 ・4か月児健診では、予診票発送時、だしのとり方に関する啓発ビラを同封。 ・1歳6か月児健診では、予診票発送時、生活リズムに関する啓発ビラを同封。生活リズムや共食に関する啓発ビラやレシピを当日配布。 ・3歳6か月児健診では、予診票発送時、食事バランスに関する啓発ビラを同封。当日配布する栄養の資料に「共食」についての内容を追加し配布した。 ・広報等を元に、食に関するイベント情報を健診の機会やその他教室の機会に毎月まとめて掲示物や配布物を元に周知啓発を行う。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診：栄養士による個別相談を実施。だしを活用したレシピを掲示し情報提供を行った。広報等を元に食に関するイベント情報を毎月まとめて、健診や教室の機会に、掲示物や配布物として周知啓発を行った。 ・4か月児健診：予診票発送時、だしのとり方に関する啓発ビラを同封。 ・1歳6か月児健診：予診票発送時、生活リズムに関する啓発ビラを同封。生活リズムや共食に関する啓発ビラやレシピを当日配布。 ・3歳6か月児健診：予診票発送時、食事バランスに関する啓発ビラを同封。当日配布する栄養資料に「共食」の内容を追加し配布。 ・妊婦教室：栄養士による、妊娠中の食生活に関する講話を実施。 ・いずまるあかちゃんくらぶや親子教室：乳幼児やその保護者を対象に、食生活に関する講話を実施。 <p>4か月児健診配布数：871人 1歳6か月児健診配布数：968人 3歳6か月児健診配布数：1052人 妊婦教室参加者数：実136人 いずまるあかちゃんくらぶ参加者数：延136人 親子教室参加者数：実30人 *いずれも(R4.12月末実績)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査：栄養士による個別相談を実施。「朝食にも使いやすい旬の野菜を使った簡単レシピ」を作成し、掲示と配布を行う。 ・広報等を元に、食に関するイベント情報を健診の機会やその他教室の機会に毎月まとめて掲示物や配布物を元に周知啓発を行う。 ・4か月児健診：予診票発送時、だしのとり方に関する啓発ビラを同封。当日配布する栄養の資料に保護者の食事バランスについて掲載。 ・1歳6か月児健診：予診票発送時、生活リズムに関する啓発ビラを同封。当日配布する資料に朝食摂取の重要性を掲載。 ・3歳6か月児健診：予診票発送時、食事バランスに関する啓発ビラを同封。当日配布する栄養の資料に「共食」についての内容を掲載。
				母子健康教育・相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦教室において、栄養士による、妊娠中の食生活に関する講話を実施。 ・いずまるあかちゃんくらぶや親子教室において、乳幼児やその保護者を対象に、食生活に関する講話を実施。 ・広報等を元に、食に関するイベント情報を健診の機会やその他教室の機会に毎月まとめて掲示物や配布物を元に周知啓発を行う。 	<p>【評価・課題】</p> <p>あらゆる機会を活用し、栄養や食生活に関する情報提供を行うことができた。</p>	

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
3 栄養・食生活	生活習慣病予防につながる食生活の改善にむけた対策の推進	ライフステージに応じて、各種保健事業等を活用し、栄養や食生活に関する情報提供に取り組みます。	子育て支援室	在宅子育て支援事業	子育て支援事業などを活用し、栄養や食生活に関する情報提供に取り組みます。	【実績】 子育て講座にて保育園栄養士による講座を2/20に実施予定。7組参加予定。 食育交流会をエンゼルハウスと合同で8/30に9組参加、1/24に実施予定。8組参加予定。 【評価・課題】 関係課等と協働した取り組みにより、専門職(栄養士)からの情報提供ができた。 今後もコロナ感染対策に配慮しつつ取り組みの継続が課題。	子育て支援事業などを活用し、栄養や食生活に関する情報提供に取り組みます。
		子どもの頃から心身の成長や健康の保持増進のための食習慣を身につけることができるよう、保育所・幼稚園・こども園、小・中学校での取り組みを行います。	学校教育室	健康教育・体力向上推進事業	第3次和泉市食育推進計画の基本目標5「地域みんなで和泉の食育を担おう」を周知啓発するため、引き続き以下のような取り組みを実施する。 ・各学校において、食に関する授業を定期的実施する。 ・食に関する通信等を発行し、家庭へ配付する。 ・各学校において、継続した給食指導の実施する。	【実績】 ・食育献立や行事食等を給食で実施するとともに、それらの食文化について、校内放送や教室巡回で情報提供し、児童生徒が日本や世界の食文化に親しみを持つ機会をつくった。 ・各校の食に関する全体計画に基づき、食に関する授業を定期的実施した。 ・給食だより等の通信で、食事のマナーやあいさつについて児童生徒・保護者に周知、啓発を行った。 【評価・課題】 各校で工夫を行いながら、食育を進めていくことができた。	第3次和泉市食育推進計画を周知啓発するため、引き続き以下のような取り組みを実施する。 ・各学校において、食に関する授業を定期的実施する。 ・食に関する通信等を発行し、家庭へ配付する。 ・各学校において、継続した給食指導の実施する。
		介護予防の取り組みを通じて、高齢者の栄養改善に係る普及啓発を行います。	学校園管理室	公立保育所運営事業 公立幼稚園運営事業	保育園において、日常の保育・行事の中で、健康や食についての内容を園の全職員で共有し子どもや保護者に伝える。	【実績】 ①新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、給食試食会を見合わせ、おたよりで共食の意義を啓発した。 ②給食においては、家庭で好き嫌いする食べ物も、友達と一緒に食事することで楽しみながら食べられるという姿があった。 【評価・課題】 来年度も状況に応じ対応すると共に、中止になった行事については実施できる方法を考え、様々な機会を活用して伝え、家庭での食育に繋がるよう啓発していく。	保育園において、日常の保育・行事の中で、健康や食についての内容を園の全職員で共有し子どもや保護者に伝える。
		介護予防の取り組みを通じて、高齢者の栄養改善に係る普及啓発を行います。	高齢介護室	介護予防教室 ふれあい食事サービス助成事業	・「生活習慣改善クラス」や「はつらつ教室」の中で、栄養改善について実践に結びつくような講話などをおこなう。 ・ふれあい食事サービスについて、実施団体が活動を継続できるように支援する。	【実績】 ・生活習慣改善クラス 参加者数実13人(12月末) ・はつらつ教室 参加者数実48人(12月末) ・ふれあい食事サービス 【評価・課題】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室の定員は昨年度に引き続き縮小したままの運営となったが、参加者が自分の食生活を振り返り、高齢期に適する栄養摂取に向けて、取り組むきっかけづくりと機会となった。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室の定員は昨年度に引き続き縮小したままの運営となったが、参加者が自分の身体状況と向き合い、生活を見直し、身体の虚慮からの改善・向上へ取り組むことができた。 ふれあい食事サービスについて、現状コロナウイルスの感染状況も落ち着かず、食事を通しての地域の集いを行っていくことは難しいため実施団体が事業廃止。活動予定の団体が無くなったため事業を廃止。	・「生活習慣改善クラス」や「はつらつ教室」の中で、栄養改善について実践に結びつくような講話などをおこなう。 ・「ふれあい食事サービス」について、現状コロナウイルスの感染状況も落ち着かず、食事を通しての地域の集いを行っていくことは難しいため実施団体が事業廃止。活動予定の団体が無くなったため事業を廃止。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
		適正体重の維持、糖尿病や高血圧などの生活習慣病の予防・改善につながる個別指導や相談に取り組みます。	健康づくり推進室	一般健康教育事業	特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室、骨密度検診の面接時などの個別相談を通じ生活習慣病の予防・改善の取り組みを指導する。	【実績】 特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室、骨密度検診や肺がん検診面接などで 個別相談19回(12月末実績)を実施。 【評価・課題】 個別相談により生活習慣の予防や改善に対する意識付けにつながった。	特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室、骨密度検診、肺がん検診の面接時などの個別相談を通じ生活習慣病の予防・改善の取り組みを指導する。
	「第3次和泉市食育推進計画」に基づく施策の推進	健康づくりの視点を踏まえ、「第3次和泉市食育推進計画」の推進を図ります。	健康づくり推進室	食育推進事業	基本目標5「地域のみみなで和泉の食育を担おう」をテーマとし、食育合同事業を実施する。	【実績】 基本目標5「地域のみみなで和泉の食育を担おう」をテーマとし、食育合同事業(報告会)を実施した。 参加者数:市民110名+乳幼児、園児53名 【評価・課題】 1年ごとの段階的に基本目標をテーマ設定することで、計画推進が図られている。	基本目標2「生活リズムを整え、バランスの取れた食生活を実現しよう」をテーマとし、食育合同事業を実施する。
4 健康チェック	【施策1】 健(検)診を活用した健康管理の普及啓発	各種健(検)診結果を健康管理や生活習慣改善につなげることができるよう、結果の活用に関する情報提供を行うとともに、健康づくりに関する相談などにも対応します。	健康づくり推進室	一般教育相談事業	・骨密度検診や特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室などで個別相談や情報提供を継続する。	【実績】 ・ヘルシー運動教室、ヘルスアップサポーターいずみ定例会で学習会13回(12月末実績)を開催。 ・特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室、骨密度検診面接などで個別相談19回(12月末実績)を実施。 【評価・課題】 学習会を通じ情報提供ができた。健診結果に合わせ個別相談を行うことでより健康管理や生活習慣改善への意識付につながった。	・骨密度検診や特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室などで個別相談や情報提供を継続する。
			保険年金室	結果説明会	・特定健診結果説明会の面接時などで情報提供や相談を実施。 コロナの影響で面接できない場合でも、電話やリモート等で可能な限りハイリスク者には指導を行う。 ・アスマイルの周知・活用促進	【実績】 ①結果説明会:5回実施 結果説明会来所者317人(R4.12月末時点) 30代受診者で保健指導が必要な人については架電による保健指導を実施。20人(R4.12月末) ②アスマイル:市町村オプションのトライアルを実施した結果、国保の登録者数が1.51倍になった。登録者数:国保会員 1,602人(R4.12月末) 【評価】 ①説明会来所率は81.9%で昨年よりも1.5%低下しているが、後日面接者を追加すると94.1%に指導できている。 ②登録者数は600人弱増加している。集団健診受診者では利用者がたびたび見られた。 【課題】 ①引き続き、毎年健診受診することの必要性を伝えながら、生活習慣改善等の指導を行う。 ②市町村オプション(電子マネーの上乗せ)を導入し、受診率の向上及び健康増進に役立てる。	①特定健診結果説明会の面接時などで情報提供や相談を実施。 コロナの影響で面接できない場合でも、電話等で可能な限りハイリスク者には指導を行う。 継続受診の必要性の説明、要医療判定者への医療機関受診勧奨を実施。 ②市町村オプション(電子マネーの上乗せ)を導入し、更なるアスマイルの周知・活用促進を行う。
		国民健康保険特定健康診査結果から糖尿病や高血圧等の重症化予防が必要な人に対し、医療機関等と連携を図り、保健指導や支援を行います。	保険年金室	①特定保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防事業	①健診後、治療域の人に受療勧奨を図り、放置できないことを意識づけ、受診への行動変容を図る。 ② ・対象者に参加勧奨通知を行い、主治医からも参加の促しをもらうように依頼する。 ・返信のない対象者には電話にて再勧奨。経過・結果についても必要時、主治医に報告し医療機関協力のもと、実施する。 ・既事業参加者に対し、医師の講話がある糖尿病教室の実施。 ・和泉市糖尿病性腎症予防対策会議の実施	① 【実績】高血糖(HbA1c6.5以上)または、高血圧(160mmHg以上かつ100mmHg以上)の該当者を6月と10月にKDBで抽出。受診勧奨(郵送)して送付約2週間後に電話にて確認する。(R4.12月現在) 対象者:266人。送付者:266人。受診した人:141人 【評価】送付者のうち、53.0%の人が受診し、昨年度の59.1%より減少している。 【課題】引き続き、未受療の人が、受療の必要性を理解できるような勧奨通知、指導が必要である。 ② 【実績】 ・事業参加者20名(R4.12月末) ・R4.12.15に糖尿病セミナー実施32名の参加(関係機関含む) ・R5.2月下旬から3月上旬に和泉市糖尿病性腎症予防対策会議を実施予定 【評価】 参加者数は昨年度とほぼ同数あり、また今年度は主治医からの紹介者が5名おり、うち4人が参加につながった。利用勧奨の効果があつたと思われる。 今までの本事業参加者に対し、糖尿病セミナーを実施したところ、好評であり、参加者の生活習慣改善意欲の向上につながった。 【課題】 本事業を受けた人が、生活習慣改善行動を継続的に実施できるためのモチベーション向上のための支援体制の検討	①健診後、治療域の人に受療勧奨を図り、放置できないことを意識づけ、受診への行動変容を図る。 ② ・対象者に参加勧奨通知を行い、主治医からも参加の促しをもらうように依頼する。 ・返信のない対象者には電話にて再勧奨。経過・結果についても必要時、主治医に報告し医療機関協力のもと、実施する。 ・既事業参加者に対し、医師の講話がある糖尿病セミナーの実施。 ・和泉市糖尿病性腎症予防対策会議の実施

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
		セルフメディケーション(自分の健康は自分で守る)の推進と支援に取り組みます。	健康づくり推進室	健康診査・がん検診事業	・継続して健康づくりポイント事業について啓発、活躍促進をはかる。ウォーキングイベントを年2回行い、運動習慣、がん検診の定着につなげていく。	【実績】 健康アプリ「アスマイル」や和泉健康づくりポイント事業の啓発や活用促進、乳幼児健診時にプレストウェアネスについて啓発、がん検診や運動習慣の定着につなげる啓発を行い、セルフメディケーションを意識する機会を設けた。 【評価・課題】 あらゆる世代へ意識醸成を図る機会になっている。	継続して健康づくりポイント事業について啓発・活躍促進をはかる。乳幼児健診の機会を活用した啓発やウォーキングイベントの開催し運動習慣やがん検診の定着につなげる啓発などセルフメディケーションを意識する機会を設ける。
				一般教育相談事業	セルフメディケーションを推進できるように、ヘルシー運動教室の講話時やHS定例会学習会、地域健康教育等を通じ、引き続き健診結果の見方や生活習慣との関連について考えられるように指導を行う。	【実績】 ・ヘルシー運動教室、ヘルスアップサポーターいずみ定例会で学習会13回(12月末実績)を開催。 ・特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室、骨密度検診面接などで個別相談19回(12月末実績)を実施。 【評価・課題】 学習会や個別相談を通じ、健診結果の見方や生活習慣との関係性を伝えることができた。	セルフメディケーションを推進できるように、ヘルシー運動教室の講話時やHS定例会学習会、地域健康教育等を通じ、引き続き健診結果の見方や生活習慣との関連について考えられるように指導を行う。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
4 健康チェック	【施策1】 健(検)診を活用した健康管理の普及啓発	子どもの頃からの生活習慣病予防の推進に取り組みます。	こども未来室	保育所等育成事業	保育園において、各種測定や保健指導等を通して健康管理に関心を持てるようにする。	【実績】 公立保育園9園において、各種測定や保健指導やお便り等を通して健康管理に関する情報提供をした。 【評価・課題】 発達に合わせて保健指導を行うことで園児は関心を持ってきている。引き続き行っていく。	保育園において、各種測定や保健指導等を通して健康管理に関心を持てるようにする。
		市民健診や電子レセプトデータから糖尿病や高血圧等の重症化予防が必要な人に対し、医療機関等と連携を図り、保健指導や支援を行います。	生活福祉課	健康管理支援事業	・健康管理支援業務委託業者を決定し、年間10回保健師等専門職による保健指導ができる人材確保 ・市民健診受診勧奨の継続実施 ・生活習慣病治療中(糖尿病・高血圧等)の被保護者への個別プラン作成・保健指導の継続実施 ・新規保護申請者(うち要支援者)や頻回受診者への保健指導の充実	【実績】(12月末実績) 委託事業者による保健指導 年間10回(前年10回) 市民健診受診勧奨 1,530件(前年129件) 生活習慣病治療中等の個別プラン作成・保健指導 72件(前年延66件) 20～64歳の新規保護開始者への保健指導 76件(R4新規) 20～39歳の新規保護開始者への検診命令実施 8件(R4新規) 【評価・課題】 R4年度より事業対象を40歳以上から20歳以上と拡充し、若年層に重点をおいた保健指導を実施した。 市民健診について、40～74歳の在宅被保護者全員を対象を広げ勧奨したことで、ひろく健診の意義を啓発できた。 新規保護開始者のうち20～64歳の若年・稼働年齢層に対し、健康の自己管理に関する啓発する体制づくりができた。	引き続き、20～64歳の新規保護開始者及び生活習慣病治療中等の40～74歳の被保護者を対象とした、健康の自己管理のための健診受診勧奨・保健指導の実施。
	【施策2】 健(検)診受診率向上に向けた対策の推進	各種健(検)診の受診方法など内容の充実を図ります。	健康づくり推進室	健康診査・がん検診事業	令和4年度は協会けんぽとの共催は中止、新たに国保集団検診と乳がん検診の共催を実施予定。	【実績】 ・国保特定健診と乳がん検診を同時実施。 【評価・課題】 ・国保特定健診との共催は、予約時の反応が好評、来年度は回数及び枚数の増加を検討。	国保集団検診と乳がん検診の共催回数を2回に増やし、1回あたりの同時予約枠も8枠から9枠に増やして実施予定。
	がん検診受診率向上に向けた効果的な個別受診勧奨を実施します。	健康づくり推進室	健康診査・がん検診事業	・前年度の受診勧奨の効果の検証や受診状況を分析し、次年度の効果的な受診勧奨を要検討。 ・コロナ禍でも検診を控えることがないよう周知啓発。	【実績】暫定10月末 胃がん検診 368人(前年 314人) 乳がん検診 2,052人(前年1,984人) 大腸がん検診 5,961人(前年5,113人) 子宮がん検診 2,902人(前年2,681人) 肺がん検診 7,168人(前年5,656人) ・個別受診勧奨(クーポン券:約12,000人、クーポンリコール:約10,000人、はがき:約28,000人)を節目年齢対象に実施。 ・胃内視鏡対象者を拡大(3世代)、対象者に予約方法や検査内容の情報を分かりやすく記載したはがきを送付(約5,000人)。 【評価・課題】 前年度に引き続きコロナ禍による集団検診は、受診人数の制限(前年50人→40人)あるが、個別検診の受診者数は5大がん全てにおいて増加。	・個別受診勧奨の対象者の拡大を検討中。 ・乳がん集団検診を4回(約200人)拡大。日曜日中心に開催し、40～50歳代の受診者層の新規獲得をはかる。	

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
		自らの健康状態を正しく把握し疾患の早期発見に繋げるため、広報・冊子及びリーフレット・チラシ・ポスター等の各種媒体や各種保健事業、子育て支援事業、生涯学習、学校等のあらゆる機会を活用し、健康診査やがん検診の必要性やメリット・効果等について周知・啓発を行います。	健康づくり推進室	健康診査・がん検診事業	<ul style="list-style-type: none"> 前年の受診勧奨の効果を検証し、効果的な受診勧奨へと繋げる 引き続き広報・冊子及びリーフレット・チラシ・ポスター等の媒体を活用し、各種(健)検診の周知・啓発を実施。 引き続きヘルシー運動教室や地域健康教育、乳幼児健診、親子教室等で周知。 コロナ禍でも検診を控えることがないよう周知啓発。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の受診状況を分析し、昨年度効果的であった通知をさらに内容を充実させて個別受診ハガキを発送。 ①40歳到達、②40～65歳胃・大腸がん、③42～52歳乳・子宮がん、④54、58歳胃カメラ⑤22～38歳子宮がん 個別受診勧奨数 28,000件 女性への啓発機会として、骨密度検診を受診された方に、子宮がん・乳がん検診の勧奨チラシ配付。 検診に関するあらゆる電話対応の機会にがん検診を勧奨。 集団検診時、がん検診リーフレット等を配布し啓発。 4か月、1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月児健診、親子教室、ヘルシー運動教室、ヘルスアップサポーターいずみ定例会でリーフレットを配布し啓発を実施。 コロナ禍でも検診控えしないため、ホームページ(集団検診、個別検診)に「がん検診は必要です(日本対がん協会)」のリーフレットを掲載。 <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別受診勧奨はがきの発送、広報・冊子及びリーフレット・チラシ・ポスター等によりがん検診を周知、引き続き集団検診の定員減はあるものの、個別検診の受診者数は増加傾向。 受診勧奨の効果を検証し、次年度の受診勧奨へと繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年の受診勧奨の効果を検証し、効果的な受診勧奨へと繋げる 引き続き広報・冊子及びリーフレット・チラシ・ポスター等の媒体を活用し、各種(健)検診の周知・啓発を実施。 引き続きヘルシー運動教室や地域健康教育、乳幼児健診、親子教室等で周知。 コロナ禍でも検診を控えることがないよう周知啓発。
4 健康チェック	【施策2】 健(検)診受診率向上に向けた対策の推進	自らの健康状態を正しく把握し疾患の早期発見に繋げるため、広報・冊子及びリーフレット・チラシ・ポスター等の各種媒体や各種保健事業、子育て支援事業、生涯学習、学校等のあらゆる機会を活用し、健康診査やがん検診の必要性やメリット・効果等について周知・啓発を行います。	保険年金室	特定健診 こくほ40歳前健診	<p><特定健診></p> <ul style="list-style-type: none"> 広報・冊子及びリーフレット・チラシ・ポスター等の媒体を活用し、各種健(検)診の周知・啓発を実施。 AIを活用した受診勧奨ハガキの送付対象者を増やして実施。 <p><こくほ40歳前健診></p> <ul style="list-style-type: none"> 35～39歳の加入者に対しても、特定健診+市追加検査の内容で集団健診を実施。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診者数5,089人(R4.12月末) R4.5月と8月と10月に特定健診の受診勧奨ハガキを27,341人(延人数)に送付 かかりつけ医から受診勧奨してもらえるように、R4.7月にチラシを配布し、依頼した。 年度末年齢35～39歳には、7月に1,457人にはがき送付 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月末現在で、受診率は20.3%。昨年度の同時期では18.6%だったので1.7P増加している。 AIを活用した受診勧奨ハガキを送付したが、コロナの影響もあり、個別健診の受診率増につながりにくい部分もあった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナによる健診受診控えへの対策 40～50歳代の未受診者対策 	<p><特定健診></p> <ul style="list-style-type: none"> 広報・冊子及びリーフレット・チラシ・ポスター・メール等の媒体を活用し、各種健(検)診の周知・啓発を実施。 AIを活用した受診勧奨ハガキの送付対象者を増やして実施。 <p><こくほ40歳前健診></p> <ul style="list-style-type: none"> 35～39歳の加入者に対しても、特定健診+市追加検査の内容で集団健診を実施。 集団健診申込約1か月前にはがきにて申込案内送付 特定健診集団健診で受診者数が少ない日程について、30代も申し込み可能となる日を1日設ける。
		国民健康保険の特定健康診査対象者に受診勧奨を実施します。また、30歳以上の国民健康保険被保険者対象に、人間ドック受診費用を一部助成します。	保険年金室	人間ドック	<p>特定健診受診券送付時や、国保被保険者証更新時のチラシに人間ドック助成について周知する。</p> <p>基本検査:31,000円を助成 頭部MRI・MRA検査:10,000円を助成</p>	<p>【実績】</p> <p>特定健診受診券送付時にチラシを同封。</p> <p>30代受診者数:30人(R4.12月末) 40代受診者数:1,419人(R4.12月末)</p> <p>【評価】</p> <p>昨年度(R3年)とほぼ同数の受診者数である。</p> <p>【課題】</p> <p>引き続き、チラシやホームページでの周知を行う必要がある。</p>	<p>特定健診受診券送付時や、国保被保険者証更新時のチラシに人間ドック助成について周知する。</p> <p>基本検査:31,000円を助成 頭部MRI・MRA検査:10,000円を助成</p>

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
5 歯と口腔の健康	【施策1】 歯と口腔の健康づくりに係る普及啓発	母子保健事業、子育て支援事業などを活用し、妊婦や乳幼児の歯の健康づくりに関する周知・啓発を行います。	健康づくり推進室	母子健康診査事業 母子健康教育相談事業	<ul style="list-style-type: none"> 4か月児健診、1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳6か月児健診において、歯の健康づくりに関する啓発ビラの配布を実施。 8020運動や噛ミング30も健診時に掲示し周知する。 個別指導の充実に努め、必要時、健診後に状況確認等を行い、歯科受診の必要性につなげる。 いずまるあかちゃんくらぶにおいて、歯と口腔の健康(赤ちゃんのお口のケア)に関する講話を継続。 妊婦教室で歯科衛生士が妊娠期の口腔ケアや乳児の歯についての講話を実施する。教室で、妊婦歯科検診の受診勧奨を行う。 地域の母子健康教育は、コロナの感染状況を鑑みながら実施できる場から講話を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【実績】 4か月児健診、1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳6か月児健診において、歯の健康づくりに関する啓発ビラの配布を実施。 健診時、8020運動、噛ミング30を掲示し周知。 健診当日の個別指導および必要時、後日歯科フォローを実施。 4か月児健診受診者: 835人(12月末実績) 1歳6か月児健診受診者: 923人(12月末実績) 2歳6か月児歯科健診受診者: 953人(12月末実績) 3歳6か月児健診受診者: 1015人(12月末実績) いずまるあかちゃんくらぶにて、歯科衛生士による歯と口腔の健康の大切さについて講話を実施。 いずまるあかちゃんくらぶ参加者(歯科講話時) 69人(12月末実績) 妊婦教室では、歯科衛生士が妊娠期の口腔ケアや乳児の歯について講話を実施し、妊婦歯科検診の受診勧奨した。 妊婦教室参加者数: 実125人(12月末実績) 地域の子育てサークルにて歯に関する講話を実施(内容: 乳幼児とその保護者向けに口腔ケアについて) 講話: 計2回、参加者39人(12月末実績) 【評価・課題】 事業を活用しながら、妊婦・乳幼児およびその保護者に対し、ケア方法を含めた歯の健康づくりに関する情報提供できた。また地域の講話する機会が昨年より増加。今後も、あらゆる機会を逃さず、周知を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、4か月児健診、1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳6か月児健診において、歯の健康づくりに関する啓発ビラの配布を実施。また、感染対策を行いながら、個別指導を継続する。 2歳6か月児歯科健診のビラについて内容を充実させ作成し、年度内に配布開始を行う。 いずまるあかちゃんくらぶにおいて、歯と口腔の健康に関する講話を継続。 妊婦教室で妊娠期の口腔ケアや乳児の歯についての講話を継続。 地域の母子健康教育は、コロナの感染状況を鑑みながら実施できる場から講話を実施する。
			子育て支援室	在宅子育て支援事業	子育て支援事業などを活用し、保護者への歯の健康づくりに関する周知・啓発に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 【実績】 子育て講座にて保育園看護師による講座を6/9に実施、4組参加。6/24にはオンライン配信にて実施。5組参加。 【評価・課題】 関係課等と協働した取り組みにより、専門職(看護師)からの情報提供ができた。 今後もコロナ感染対策に配慮しつつ、取り組みの継続が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業などを活用し、保護者への歯の健康づくりに関する周知・啓発に努めます。
5 歯と口腔の健康	【施策1】 歯と口腔の健康づくりに係る普及啓発	保育所・幼稚園・こども園、小・中学校において歯科検診や歯みがき指導等を実施し、歯と口腔の健康づくりに関する教育を行います。	学校教育室	健康教育・体力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、教室・相談・検診などの機会を活用した、歯科保健に関する普及啓発を実施、歯と口の健康づくり行動につながるための相談・指導を実施する。 各学校にて、養護教諭を中心に口腔機能の重要性や健康づくりについての指導を児童生徒に定期的に実施する。 歯垢染め出しによる口腔衛生に関する指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【実績】 検診等の後に学校歯科医からの助言等を保健だよりで配付し、歯と口の健康づくりに関する家庭への周知・啓発を行った。また、歯科検診未受診者には個別で対応し家庭への連絡を行った。 養護教諭を中心に口腔機能の重要性や健康づくりについての指導を児童生徒に行った。 【評価・課題】 各校で工夫を行いながら、歯と口腔の健康づくりの普及を進めていくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、教室・相談・検診などの機会を活用した、歯科保健に関する普及啓発を実施、歯と口の健康づくり行動につながるための相談・指導を実施する。 各学校にて、養護教諭を中心に口腔機能の重要性や健康づくりについての指導を児童生徒に定期的に実施する。 歯垢染め出しによる口腔衛生に関する指導を実施する。
			こども未来室	保育所等育成事業 幼稚園育成事業	保育園・幼稚園において、歯科検診や歯磨き指導等を実施し歯と口腔の健康について関心を持てるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> 【実績】 公立保育園9園・公立幼稚園2園において、歯科検診や毎日の歯磨き指導等を実施し歯と口腔の健康について絵本などを通して関心を持てるような保育を実施した。 【評価・課題】 毎日の生活の中で指導を積み重ねているため、歯と口腔についての関心を持っている。引き続き行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園・幼稚園において、歯科検診や歯磨き指導等を実施し歯と口腔の健康について関心を持てるようにする。
			健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	各種保健事業を通じて8020運動や噛ミング30など歯と口腔の健康づくりに関する周知・啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診集団結果説明会の会場に啓発ポスター掲示を継続。 ヘルシー運動教室やヘルスアップサポーターいずみ定例会での周知・啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> 【実績】 特定健診結果説明会、ヘルシー運動教室、骨密度検診、肺がん検診面接などで会場に噛ミング30関連の啓発ポスターを掲示。 計24回(12月末実績) ヘルスアップサポーターいずみ定例会学習会において歯と口腔の健康について周知・啓発を計3回実施。(12月末実績) 【評価・課題】 取り組みを通じ、認識を高めるきっかけになっている。定期健診や噛むことの重要性の認識につながるよう、引き続き周知が必要。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
		介護予防や認知症予防の取り組みとして、高齢期の口腔機能の維持向上に関する普及啓発を行います。	高齢介護室	介護予防教室	・介護予防教室や教育の講話の中で啓発を行う。 ・「かみかみいずみ体操」の普及に努める。	【実績】 ・介護予防教室5種(認・運・生・おためし・のびのび) 参加者実人数152名(12月末時点) ・教室参加者・いきいきいずみ体操の新規参加者に「かみかみいずみ体操」のちらし配布 【評価・課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教室の定員は昨年度に引き続き縮小したままの運営となったが、参加者にオーラルフレイルについての啓発を行った。	・介護予防教室や教育の講話の中で啓発を行う。 ・「かみかみいずみ体操」の普及に努める。
	歯科疾患の予防と早期発見の推進	妊婦歯科検診、乳幼児健診での歯科診察等を実施し、妊娠期からの歯と口腔の健康づくりを支援します。	健康づくり推進室	母子健康診査事業	・統一した指導及び記録のため歯科フォロー記録用紙を活用し、必要な対象に対し後日フォローを実施する。 ・1歳6か月児健診のう蝕活動性試験の結果で、むし歯菌が多かった児へは、虫歯になりやすい食生活や仕上げ磨きの方法についての周知ビラを結果とともに同封する。 ・継続して乳幼児健診時、個別指導実施。児の定期受診を勧める際に、保護者の定期受診も勧める。 ・母子健康手帳の面接時や、妊婦教室で妊婦歯科検診の必要性を周知継続する。	【実績】 ・1歳6か月児健診のう蝕活動性試験の結果が「+」以上で周知ビラを郵送した対象者数:829件 【課題・評価】 妊婦歯科検診、乳幼児健診事業を通じ、妊娠期からの歯と口腔の健康づくりの支援に繋がっているまた、乳幼児健診時には、個別指導の充実を図ることができた。	・妊婦歯科検診、乳幼児健診での歯科診察を実施する ・1歳6か月児健診のう蝕活動性試験の結果で、むし歯菌が多かった児へは、虫歯になりやすい食生活や仕上げ磨きの方法についての周知ビラを結果とともに同封する。
		歯周疾患検診を実施し、歯周疾患の予防に向けた指導を行います。	健康づくり推進室	健康診査・がん検診事業	・歯周疾患検診の実施。 ・チラシ配布中止。 ・サークルの講話時に歯周疾患検診の推奨を行い認知を高める。	【実績】 ・歯周疾患検診の実施ならびに歯周疾患の予防に向けた指導を行った。歯周疾患検診数 1,007件(12月末実績) ・コロナ禍により、サークルの講話時に歯周疾患検診の推奨は中止。 【評価・課題】 歯周疾患検診の実施、歯周疾患予防に向けた指導を行うことで、歯科疾患の予防と早期発見に繋がっている。	・歯周疾患検診の実施。 ・サークルや出前講座の講話時に歯周疾患検診の推奨を行い認知を高める。
5 歯と口腔の健康	歯科疾患の予防と早期発見の推進	歯周疾患検診の受診率向上に向けた効果的な受診勧奨を実施します。	健康づくり推進室	健康診査・がん検診事業	・前年の受診勧奨の効果を検証し、効果的な受診勧奨へと繋げる。 ・啓発ポスターを作成し、歯科医師会を通じて歯科医院に掲示を依頼。	【実績】 ・啓発ポスターを作成し、歯科医師会を通じて、歯科医院に掲示を依頼。 ・歯周疾患検診の受診率向上に向けて、40歳に個別受診勧奨ハガキを発送。 歯周疾患検診受診者数1,007人(1,171人) *()内は前年度、すべて12月末実績。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により対象年度未受診者に拡大実施。 【評価・課題】 ・前年対象年度未受診者は減少。[R3:265人→R4:37人(10月実績)] ・受診者数は減少。 ・40・45・50・55歳対象者割合は増加。[R3:44%→R4:50%(10月実績)]	・前年の受診勧奨の効果を検証し、効果的な受診勧奨へと繋げる。 ・啓発ポスターを作成し、歯科医師会を通じて歯科医院に掲示を依頼。 ・コロナ禍による受診控えで対象年度未受診者に拡大実施を啓発・周知。 ・対象者を40歳と50歳に拡大して個別受診勧奨はがき発送を検討。
		高齢期の歯と口腔の機能維持・増進のため、後期高齢者歯科健康診査や在宅要介護者等を対象にした訪問歯科健康診査等を行います。	高齢介護室	在宅要介護者訪問歯科健康診査事業 後期高齢者歯科健康診査事業	・「在宅要介護者訪問歯科健康診査事業」「後期高齢者歯科健康診査事業」の中で、歯科健診や口腔ケア指導を行う。	【実績】 ・在宅要介護者訪問歯科健康診査事業 50件 ・後期高齢者歯科健康診査事業 21件(12月末) 【評価・課題】 在宅要介護者訪問歯科健康診査の実績が昨年度と同様に増加。高齢者の増加に起因するものと思われる。 一方、後期高齢者歯科健康診査の受診者は横ばい状態。	・「在宅要介護者訪問歯科健康診査事業」「後期高齢者歯科健康診査事業」の中で、歯科健診や口腔ケア指導を行う。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
6 たばこ	【施策1】 喫煙防止、望まない受 動喫煙防止の普及啓 発	世界禁煙デーや禁煙週間、健康まつり等において、喫煙防止・受動喫煙防止に向けた周知・啓発を行います。	健康づくり推進室	健康都市いずみ21計画進行管理事業 一般健康教育相談事業	・受動喫煙防止対策に対して、府より情報提供があれば、関係各課に情報提供を行う。 ・広報・ホームページ・庁内放送・いずみメール・子育てアプリを活用し受動喫煙防止に関する周知・啓発を行う。 ・喫煙者の関心を高めるため、保健福祉センター管轄内において啓発ポスター掲示。	【実績】 ・関係各課へ実施世界禁煙デーの周知啓発を実施 1回 ・広報、ホームページ、庁内放送、いずみメールを活用し世界禁煙デーに合わせ受動喫煙防止に関する周知・啓発を実施 1回 ・市内小学生を対象とした禁煙・受動喫煙防止絵画の募集、作品展示はコロナ禍による健康まつり中止のため未実施。厚生労働省受動喫煙防止マスコットと本市キャラクターを起用したポスターを作成配布・啓発 11関係機関・団体 ・保健福祉センターラウンジや占有スペースにポスター掲示し、乳幼児健診や各種検診時に啓発 【評価・課題】 健康増進法改正・府条例制定により一定の啓発もなされている。また、新型たばこの需要が増えており、健康への影響について十分啓発されていない現状があるため、受動喫煙・3次喫煙を重きに啓発が必要。	・受動喫煙防止対策に対して、府より情報提供があれば、関係各課に情報提供を行う。 ・広報・ホームページ・庁内放送・いずみメール等を活用し受動喫煙防止に関する周知・啓発を行う。 ・喫煙者の関心を高めるため、保健福祉センター管轄内において啓発ポスター掲示。
		母子保健事業を通じて、喫煙・受動喫煙に係る胎児や子どもへの影響について普及啓発を行います。		母子健康教育相談事業	・引き続き、母子健康手帳交付の面接時、全数にリーフレットを配布し、喫煙・受動喫煙について啓発する。また、喫煙している妊婦で、目標に禁煙する妊婦については、その後の状況を把握し、継続できるよう支援する。 ・妊婦教室で、たばこの健康への影響や妊婦の禁煙についてリーフレットを用いて啓発をする。必要に応じ、禁煙についての助言や禁煙外来の紹介を行う。	【実績】 ・母子健康手帳交付の面接時、全数にリーフレットを配布し、喫煙・受動喫煙に係る胎児や子どもへの影響について普及啓発を図り、アンケートより喫煙している妊婦や喫煙者のいる家庭には、助言や禁煙外来の紹介を行った。 母子健康手帳交付数：855件(12月末実績) ・妊婦教室にてたばこの健康への影響や妊婦の禁煙にてリーフレットを用いて啓発をした。必要に応じ、禁煙についての助言や禁煙外来の紹介を行った。 妊婦教室参加者数：179件(12月末実績) 【評価・課題】 母子保健事業を通じて、喫煙・受動喫煙に係る胎児や子どもへの影響について普及啓発を行うことができた。	・引き続き、母子健康手帳交付の面接時、全数にリーフレットを配布し、喫煙・受動喫煙について啓発する。また、喫煙している妊婦で、目標に禁煙する妊婦については、その後の状況を把握し、継続できるよう支援する。 ・妊婦教室で、たばこの健康への影響や妊婦の禁煙についてリーフレットを用いて啓発をする。必要に応じ、禁煙についての助言や禁煙外来の紹介を行う。
				母子健康診査事業	・引き続き、健診において家族に喫煙者がいる場合は、受動喫煙に係る子どもへの影響及び禁煙について情報提供を実施する。	【実績】 4か月児健診時に禁煙・受動喫煙の影響に関するリーフレットを全数配布し啓発を実施。 4か月児健診受診者数：843人(12月末実績) 乳幼児健診では、家族に喫煙者がいる場合は、受動喫煙に係る子どもへの影響及び禁煙についてリーフレットを配布し、情報提供を実施。 【評価・課題】 母子保健事業を通じて、喫煙・受動喫煙に係る胎児や子どもへの影響について普及啓発を行うことができた。	引き続き、健診において家族に喫煙者がいる場合は、受動喫煙に係る子どもへの影響及び禁煙について情報提供を実施する。
6 たばこ	【施策1】 喫煙防止、望まない受 動喫煙防止の普及啓 発	保育所・幼稚園・こども園、小・中学校において、子どもの喫煙防止教育や受動喫煙防止対策を進めるとともに、家庭への情報提供を行います。	学校教育室	健康教育・体力向上推進事業	地域の感染状況等を踏まえ、薬剤師会・和泉警察などの協力のもと、各学校にて薬物乱用防止教室、非行防止教室を開催し、たばこやアルコールの害についての指導を児童生徒に実施していく。	【実績】 ・薬物乱用防止教室については、薬剤師会・和泉警察などの協力のもと、各学校にて実施した。 ・リーフレットを全児童生徒に配付するなど、児童生徒及び家庭への啓発・周知を行った。 ・非行防止教室については、岸和田少年サポートセンターや和泉警察署等の協力のもと、たばこやアルコールの害についての指導を児童生徒に行った。 【評価・課題】 概ね計画通り実施することができた。	薬剤師会・和泉警察などの協力のもと、各学校にて薬物乱用防止教室、非行防止教室を開催し、たばこやアルコールの害についての指導を児童生徒に実施していく。
		こども未来室		保育所等育成事業 幼稚園育成事業	子どもの喫煙防止や受動喫煙防止対策として、保育所・幼稚園の保護者に行事等で禁煙を伝えるとともにポスター等の掲示を行う。行事等での機会が減っているため送迎等の機会にも積極的に伝えるようにする。	【実績】 公立保育園9園・公立幼稚園2園において、子どもの喫煙防止や受動喫煙防止対策として、ポスター等の掲示を行った。 【評価・課題】 ポスターの掲示は行ったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため行事等で保護者に伝えることは減っているが、送迎時に必要に応じて伝えている。	子どもの喫煙防止や受動喫煙防止対策として、保育所・幼稚園の保護者に行事等で禁煙を伝えるとともにポスター等の掲示を行う。送迎等の機会にも積極的に伝えるようにする。
		健康増進法の一部改正に伴い、市役所について完全建物内禁煙や敷地内禁煙の実施方法を検討します。	総務管財室	庁舎管理事業 庁舎整備事業	敷地内全面禁煙を実施したことによる影響の把握と今後の対応策について検討を行う。	庁舎敷地内全面禁煙の影響を受け、隣接施設であるコミュニティセンターへ喫煙者が流れていたが、庁舎敷地横(府道30号線側)にコンテナ型の屋外公衆喫煙所を整備(令和5年3月末竣工・共用開始予定)することで分煙対策を実施する。	屋外公衆喫煙所について、共用開始後の日常管理を行う。使用可能時間は、7時～22時。その他時間は鍵施錠により管理を行う。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
	【施策2】 禁煙サポートの推進	市内の禁煙治療医療機関に係る情報提供を行います。また、禁煙希望者への禁煙支援を行います。	健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時やヘルシー運動教室等で喫煙者へ身近な治療機関や個別相談機関であることを情報提供。 ・HPへ治療機関情報や個別相談機関であることを掲載。 ・結核肺がん検診に禁煙指導併設 	【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時やヘルシー運動教室やヘルスアップサポーターいずみ定例会学習会で喫煙者へ身近な治療機関や個別相談機関であることを情報提供。 母子健康手帳交付数: 855件(12月末実績) ヘルシー運動教室 2回 ヘルスアップサポーターいずみ定例会学習会 1回 ・HPへの情報掲載継続 ・結核肺がん検診時の禁煙指導 2回(12月末実績) 非喫煙者へは受動喫煙に関するチラシ配布 【評価等】 概ね計画通り実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時やヘルシー運動教室等で喫煙者へ身近な治療機関や個別相談機関であることを情報提供。 ・HPへ治療機関情報や個別相談機関であることを掲載。 ・結核肺がん検診に禁煙指導併設
		国民健康保険特定健康診査(集団健診)等(及びその結果説明会)での禁煙指導を行います。	健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果説明会・結核肺がん検診等での個別面接等を実施。 	【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果説明会5回(12月末実施) ・結核肺がん検診時の禁煙指導2回(12月末実績) 【評価・課題】 対象者には禁煙指導を行い意識づけにつながっている。必要に応じ、胃がん検診での禁煙指導の開催も検討していく。	特定健診結果説明会・結核肺がん検診等での個別面接等を実施。
			保険年金室	禁煙相談	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果説明会での個別面接時などで、COPDのチェック表を活用する。 ・指導者を廊下に配置し、拒否者へも対応する。 ・医療機関へ禁煙指導のリーフレット等の情報提供を行い、個別健診受診者へ禁煙指導を実施してもらえるように働きかける。 	【実績】 [35-74歳] 禁煙指導者数: 46人、喫煙者数: 72人(R4.12月末) 30代は架電にて、40歳以上は、結果説明会にて事後フォロー実施 R4.4月に特定健診実施医療機関へ禁煙指導のリーフレットの情報提供実施。 【評価】 禁煙指導実施率が63.9%と昨年度(84.6%)よりも減少した。健診当日の聞き取りもしくは事後フォローでの聞き取りのいずれかが実施できていない対象者が多い(46人中6人が不明である)ことから、意識の変化は14.9%の人が回答未把握となっている。事後フォローでの回答未把握率は13.0%で、昨年(40.0%)よりも減少した。 【課題】 健診当日の聞き取りと事後フォローでの意識調査を両方実施する。指導を拒否する人がいるので、短期間かつ効果的な保健指導をする必要がある。30代は喫煙者の割合が高いので、次年度も継続して実施していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果説明会での個別面接時などで、COPDのチェック表を活用する。 ・指導者を健診場所に配置し、拒否者へも対応する。 ・医療機関へ禁煙指導のリーフレット等の情報提供を行い、個別健診受診者へ禁煙指導を実施してもらえるように働きかける。
7 アルコール	【施策1】 飲酒の健康への影響に係る普及啓発	母子保健事業を通じて、妊婦や授乳中の女性の飲酒防止、女性の適量飲酒量に関する周知・啓発を行います。	健康づくり推進室	母子健康教育相談事業	引き続き、母子健康手帳交付の面接時に、飲酒に関するリーフレットを配布し、妊娠中・授乳期の禁酒について啓発する。また、アンケートの飲酒項目から、飲酒している妊婦には飲酒が胎児に与える影響について伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・こんにちは赤ちゃん事業や4か月健診の機会を利用し、授乳と飲酒に関する保健指導を実施する。 	【実績】 母子健康手帳交付の面接時、飲酒に関するリーフレットを配布、妊娠中・授乳期の禁酒について啓発を行った。また、アンケートの飲酒項目から、飲酒している妊婦には飲酒が胎児に与える影響について普及啓発を実施。 母子健康手帳交付数: 855件(12月末実績) <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問事業において、飲酒について把握した場合には授乳と飲酒に関する保健指導を実施した。 ・4か月健診において、必要時予診票を元に授乳と飲酒に関する保健指導を実施。産後4か月の母の飲酒率は11.5%(12月末実績)であった。令和3年度(9.5%)に比べやや増加傾向。 【評価・課題】 母子保健事業を通じて、妊婦や授乳中の女性の飲酒防止、女性の適量飲酒量に関する周知・啓発を行うことができた。飲酒率の経過を確認しつつ、職員間で情報共有・指導の意識向上を検討。	引き続き、母子健康手帳交付の面接時に、飲酒に関するリーフレットを配布し、妊娠中・授乳期の禁酒について啓発する。また、アンケートの飲酒項目から、飲酒している妊婦には飲酒が胎児に与える影響について伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・こんにちは赤ちゃん事業や4か月健診の機会を利用し、授乳と飲酒に関する保健指導を実施する。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
		各種保健事業を通じて、アルコールが心身に及ぼす影響や適量飲酒量に関する周知・啓発を行います。	健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	・アルコール啓発週間を活用した啓発 ・地域の健康教育・ヘルシー運動教室・ヘルスアップサポーターいずみでの学習機会の提供 ・特定健診結果説明会や健康まつり等で適量飲酒量をテーマにした啓発ポスターの掲示	【実績】 ・アルコール啓発週間について市広報で周知 ・妊娠届出時母子健康手帳交付に際し、啓発リーフレットで適量飲酒に関する情報提供を全数実施。 ・ヘルシー運動教室・ヘルスアップサポーターいずみ定例会で適量飲酒に関する学習会を2回実施。 ・特定健診結果説明会で啓発ポスターを5回掲示。コロナ禍で健康まつりは中止。 ・特定健診結果説明会で多量飲酒予備群へこころの体温計のチラシ配布し情報提供を行った。 【評価・課題】 妊娠届出時母子健康手帳交付や特定健診結果説明会等の機会、妊婦や成人期へ周知し、認識を高めることができた。	・アルコール啓発週間を活用した啓発 ・地域の健康教育・ヘルシー運動教室・ヘルスアップサポーターいずみでの学習機会の提供 ・特定健診結果説明会や健康まつり等で適量飲酒量をテーマにした啓発ポスターの掲示
			保険年金室	飲酒相談	・特定健診集団健診結果説明会で適正飲酒指導やチラシの配布、待合室での啓発ポスターの掲示など。 ・特定保健指導参加者・糖尿病性腎症重症化予防事業参加者に多量飲酒者いれば、適正量摂取の指導を行う。	【実績】 チラシ(AUDITチェック)の配布:38人(R4.12月末) チラシ(こころの体温計)の配布:110人(R4.12月末) 【評価】 健診結果・生活習慣を関連付けながら、チラシを使用し適正飲酒量に関する周知、指導はできている。 【課題】 節酒への行動変容があったかどうか、特定保健指導対象者以外の評価ができていない。 毎年集団健診受診しているようであれば、前年度の結果説明時の目標や指導内容を確認する。	・特定健診集団健診結果説明会で適正飲酒指導やチラシの配布、待合室での啓発ポスターの掲示など。 ・特定保健指導参加者・糖尿病性腎症重症化予防事業参加者に多量飲酒者いれば、適正量摂取の指導を行う。
		小・中学校において飲酒防止教育を進めるとともに、家庭への啓発や情報提供を強化します。	学校教育室	健康教育・体力向上推進事業	地域の感染状況等を踏まえ、薬剤師会・和泉警察などの協力のもと、各学校にて薬物乱用防止教室、非行防止教室を開催し、たばこやアルコールの害についての指導を児童生徒に実施していく。	【実績】 ・薬物乱用防止教室については、薬剤師会・和泉警察などの協力のもと、各学校にて実施した。 ・リーフレットを全児童生徒に配付するなど、児童生徒及び家庭への啓発・周知を行った。 ・非行防止教室については、岸和田少年サポートセンターや和泉警察署等の協力のもと、たばこやアルコールの害についての指導を児童生徒に行った。 【評価・課題】 概ね計画通り実施することができた。	薬剤師会・和泉警察などの協力のもと、各学校にて薬物乱用防止教室、非行防止教室を開催し、たばこやアルコールの害についての指導を児童生徒に実施していく。
	【施策2】 多量飲酒者への生活習慣病予防にむけた対策の推進	国民健康保険特定健康診査結果説明会等で多量飲酒者に対して、生活習慣病予防等に向けた個別相談を行います。	健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	・国民健康保険特定健診結果説明会等で多量飲酒者に対して、生活習慣病予防等にむけた継続的な個別相談を実施。 ・毎日飲酒者に、飲酒に関するリーフレット、こころの体温計のチラシを配布。	【実績】 ・特定健診結果説明会の多量飲酒者への個別相談 5回(12月末実績) ・特定健診結果説明会の毎日飲酒者への飲酒に関するリーフレット、こころの体温計チラシの配布、相談 5回(12月末実績) 【評価・課題】 多量飲酒者の対象が令和4年度6人(令和3年度 8人)と減少傾向。引き続き対象者の動向に合わせ、相談を実施していく。	・国民健康保険特定健診結果説明会などで、多量飲酒者に対して生活習慣病予防などに向けた継続的な個別相談を実施 ・毎日飲酒者に、飲酒に関するリーフレット、こころの体温計のチラシ配布。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
7 アルコール	【施策2】 多量飲酒者への生活習慣病予防にむけた対策の推進	多量飲酒などのアルコール関連の問題を早期発見できるよう、また、適切な対応ができるよう保健所や医療機関等の関係機関と連携します。	健康づくり推進室	健康都市いずみ21計画進行管理事業	・関係機関と連携を図り最新情報を収集し、課内で共有する。	【実績】 ・市町村依存症対策主管課等担当者会議、和泉保健所管内市町村依存症関係者担当者会議へ出席、取組情報の共有や最新情報を収集を行った。 ・11月にアルコール関連問題啓発週間に啓発を実施 【評価・課題】 適切な対応ができるよう、引き続き連携・最新情報を収集を図る必要がある	・関係機関と連携を図り最新情報を収集し、課内で共有する。
			高齢介護室	なし	相談があれば個別対応していく。	高齢者虐待のケース対応や、地域包括支援センターの総合相談の中で個別対応を行った。	相談があれば個別対応していく。
			障がい福祉課	障がい者自立支援地域生活支援事業	基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センターにおいて、関係機関と連携を図りながら、相談支援を行います。	【実績】 基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センターにおいて、計画相談支援や事業所などの関係機関と連携を図りながら、相談支援を実施した。 【評価・課題】 保健所や医療機関とは個別ケースを通じて連携を図るとともに、障がい者自立支援協議会等を通して連携体制の構築を図っていく。	基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センターにおいて、関係機関と連携を図りながら、相談支援を行います。
8 健康を支え、守るための地域づくり(地域力の向上)	【施策1】 健康づくりにつながる地域活動への参加の推進	健康づくりに関する教室を開催し、参加者が教室修了後も地域で健康づくり活動を継続できるよう支援します。	健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	ヘルシー運動教室やヘルシー運動教室OB会活動支援を通じ、地域で健康づくり活動を継続できるよう支援する。	【実績】 ヘルシー運動教室開催回数 28回(12月末実績) ヘルシー運動教室OB会1回(58名参加) 【評価・課題】 コロナ禍のため2年間後期のみ開催だったが、今年度は前期、後期とも開催できた。また、OB会の機会も活用し、健康づくり意識の向上に繋がっている。	ヘルシー運動教室やヘルシー運動教室OB会活動支援を通じ、地域で健康づくり活動を継続できるよう支援する。
			健康づくり推進室	一般健康教育相談事業	健康づくりにつながるイベント等を開催し、参加を促進します。	【実績】 ・健康まつりはコロナ禍で中止 ・ヘルスアップサポーターいずみ企画のウォーキングイベント 1回 ・健康ポイントウォーキング 2回開催予定 ・地域健康教育は感染予防や住民の主体性に配慮しつつ実施 【評価・課題】 コロナ禍にて大人数のイベントは未開催だが、感染対策を高じて実施できるイベント等を実施し参加機会が増えた。	健康づくりにつながるイベント等(健康まつり、ウォーキングイベントなど)を開催し、参加を促進する。
			高齢介護室	街かどデイハウス運営事業 認知症地域で支えあい事業 地域活動支援介護予防教室 生活支援体制整備事業	・街かどデイハウスの運営団体が活動が継続できるよう支援を行う。 ・いきいきいずみ体操活動団体の活動を継続できるよう支援を行う。 ・「認知症高齢者等声かけ見守り訓練」「認知症サポーター養成講座」を通じ、地域で認知症への理解者、見守り支援者やSOSおかえりネットワーク協力者を増やす。 ・「認知症サポーターステップアップ講座」を開催し、実働可能な支援者を育成する。 ・おたがいさまサポーターの育成をし、地域に見守り等の活動ができる支援者を増やす。	【実績】 ・街かどデイハウス介護予防教室実施団体向けスタッフ研修開催 5団体参加 ・いきいきいずみ体操 活動83団体(12月時点) ・SOSおかえりネットワーク協力者数 1,447名(12月時点) ・SOSおかえりネットワークについて、アルツハイマーDayにあわせて和泉市LINEにて呼びかけ ・認知症サポーター養成講座受講者数 1406名(R4.4~R4.12) ・認知症サポーターステップアップ講座 28名受講 ・おたがいさまサポーター事業サポーター登録数290名(R4.12月時点 活動件数56件) ・認知症高齢者等声掛け見守り訓練 1か所実施 【評価・課題】 街かどデイハウススタッフ研修にて、フレイル予防について伝え、街かどデイハウス活動にて取り組める体操等について伝えた。今後も、活動を継続できるように支援をおこなっていく。 SOSおかえりネットワークについて和泉市LINEにて呼びかけをおこなったが、協力者増員にはつながらなかった。そのため、今後も、認知症機能強化型地域包括支援センターや地域包括支援センターと協働して地域への周知啓発を強化する必要がある。 おたがいさまサポーターについて、現況、オンライン上で交流会を実施しているが、今後大交流会などサポーター同士交流できる場をコロナの状況をみながら検討していく。	・街かどデイハウスの運営団体が介護予防教室の運営を継続できるよう支援を行う。 ・いきいきいずみ体操活動団体が活動を継続できるよう支援を行う。 ・「認知症高齢者等声かけ見守り訓練」「認知症サポーター養成講座」を通じ、地域で認知症への理解者、見守り支援者やSOSおかえりネットワーク協力者を増やす。 ・「認知症サポーターステップアップ講座」を開催し、実働可能な支援者＝認知症パートナーを育成。地域で暮らす軽度認知機能の低下が見られる人とその家族を、地域で支える地域づくりを進める。 ・新規おたがいさまサポーター確保、市民、専門職に向けて事業周知をすすめる。

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
8 健康を支え、守るための地域づくり(地域力の向上)	【施策1】 健康づくりにつながる地域活動への参加の推進	ボランティア活動や趣味活動等の情報提供を行い、また、その機会・場づくりを促進します。	公民協働推進室	コミュニティ活動支援事業	市民活動の拠点施設である「和泉ボランティア・市民活動センター(アイ・あいロビー)」を核とし、コミュニティ活動の活性化に取り組む。	【実績】 ボランティア団体や市民活動の推進のため、情報収集や情報提供、講座や交流会等の開催、助成事業等の紹介・相談や活動のための支援を行う場所として、また、公益的な支援を受けたい市民とそれらの支援を提供できる団体等をつなぐ場として運営している。 【評価・課題】 新型コロナウイルスの影響で、活動が制限されることもあったが、今の状況下でできる活動を実施し、地域活動の活性化を図ることができた。	令和5年度、設立25周年を迎える和泉ボランティア・市民活動センター(アイ・あいロビー)を核とし、ボランティアや市民活動団体、NPO法人の拠点施設としての運営を継続し、公益的な支援を受けたい市民とそれらの支援を提供できる団体等をつなぐ場として、更なる発展に努める。
			福祉総務課	福祉会館管理運営事業	高齢者や障がい者(児)が閉じこもり社会的に孤立することがないように、今後も継続して講習講座等を実施し、社会参加や活動の場を提供していきます。	【実績】年輪大学・年輪大学院や各種講習講座の開催を継続し、高齢者や障がい者(児)の社会参加の機会や活動の場の提供に取り組みました。 【評価・課題】コロナ禍においても対策及び工夫を講じながら各種講習講座やイベントを開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ会館利用者をコロナ前の利用者数にどのように戻していくかが課題です。	今後も継続して高齢者や障がい者(児)が閉じこもり社会的に孤立することがないように、講習講座等を実施し、社会参加や活動の場を提供していきます。
			障がい福祉課	障がい者自立支援地域生活支援事業	趣味活動や社会参加を促進するため、障がい福祉課窓口で様々な情報を提供するとともに、移動支援サービスの決定を行います。	【実績】 趣味活動や社会参加を促進するため、障がい福祉課窓口で様々な情報を提供するとともに、移動支援サービスの決定を行った。 【評価・課題】 引き続き、移動支援サービスの支給決定を行う。	趣味活動や社会参加を促進するため、障がい福祉課窓口で様々な情報を提供するとともに、移動支援サービスの決定を行います。
	健康づくり推進室	地域の健康づくりのニーズを踏まえつつ、情報提供、講師派遣等の健康づくり活動の住民への周知・啓発を通じて、地域での自主的な健康づくり活動を促進します。	健康都市いずみ21計画進行管理事業	・評価シートに沿って、課内進行管理を行う。 ・庁内連絡会議を年度末に1回開催する。 ・市民会議を年2回開催する。	【実績】 ・評価シートにより課内進行管理を実施 1回 ・庁内連絡会議の開催 1回(2回目:1月予定) ・市民会議の開催 1回(2回目:3月予定) 【評価・課題】 コロナ禍により健康づくり活動に工夫が必要な情勢、より関係機関団体・庁内連携が求められる。	・評価シートに沿って、課内進行管理を行う。 ・庁内連絡会議を年度末に1回開催する。 ・市民会議を年2回開催する。	
			一般健康教育相談事業	地域の健康づくりに関するニーズを踏まえつつ、情報提供、講師派遣、地域健康教育では内容の検討段階から地域住民とともに行うことなどを通じ、地域での自主的な健康づくり活動を支援する。	【実績】 地域健康教育について、子育てサロンや団体等へ保健師や運動指導士を派遣し、感染予防や住民の主体性に配慮しつつ実施した。 【評価・課題】 徐々に地域からの健康教育の依頼が増加しており、地域での健康づくり活動を応援する機会となっている。	地域の健康づくりに関するニーズをふまえつつ、内容の検討段階から地域住民とともに行うことなどを通じ、情報提供、講師派遣、健康教育の実施など、地域での自主的な健康づくり活動を支援する。	
	【施策2】 地域活動の活性化	「ヘルスアップサポーターいずみ」などの健康づくり活動の担い手を養成・育成し、地域の健康課題を解決するための取り組みを通じて活動を支援します。	健康づくり推進室	健康都市いずみ21計画進行管理事業	・ヘルスアップサポーターいずみ養成講座の開催・ヘルサポ定例会の開催・ヘルサポ活動の支援を継続。 ・担い手の発掘のため、ヘルサポと協働してヘルサポ活動のPRを行う	【実績】 ・養成講座実施 1回(5名参加) ・定例会 5回(12月末実績) ・リーダー会 5回(12月末実績) ・運動部によるウォーキングイベント 1回 ・食育イベント参加 1回 リーダー会や各部活動を通じ支援を継続実施。活動状況をヘルサポだよりにして発行し情報発信。地域での活動支援。 【評価等】 地域を基盤にした活動を中心に、ヘルサポのつながりが強化された。養成講座参加や積極的に活動参加できる次世代の担い手の確保が課題である。	・ヘルスアップサポーターいずみ養成講座の開催・ヘルサポ定例会の開催・ヘルサポ活動の支援を継続。 ・ヘルサポと協働してヘルサポ活動のPRを継続

健康分野	施策	施策概要	担当課	事務事業名	令和4年度の取り組み	令和4年度の実施内容 (実績・評価・課題)	令和5年度の取り組み予定
		地域コミュニティ等の活動支援や他団体との連携強化、協働の担い手となる団体を育成します。	公民協働推進室	コミュニティ活動支援事業	町会連合会においては、令和4年度の広報誌の特集記事の作成のための取材等を進め、町会連合会の周知及び加入促進に努める。 また、市民活動推進支援事業においては、支援対象団体に支援金を交付し、市民活動団体の活性化及びその活動の促進を図っていく。	【実績】 町会連合会において、新たな委員で活性化委員会を立ち上げ、広報いずみ2月号に町会・自治会の特集記事を掲載し、町会連合会の周知及び加入促進に努めた。 和泉市市民活動推進支援事業において、市民活動団体に支援金を交付し市民活動の活性化及び促進を図った。 【評価・課題】 町会連合会においては、広報いずみ2月号に町会・自治会の特集記事を掲載することができたが、記事作成のために行った市民アンケートにて、あらゆる課題が浮き彫りになった。 和泉市市民活動推進支援事業においては、昨年度は新型コロナウイルスの影響で事業を中止・縮小した団体が多くあったが、今年度は対策をとりつつ事業を実施する団体が増え、活性化及び促進を図ることができた。	町会連合会においては、引き続き加入促進に努めるとともに、各町会・自治会の課題解決や役員負担等新たな視点で、町会連合会の周知及び加入促進に努める。 市民活動推進支援事業においても引き続き支援対象団体に支援金を交付し、市民活動の活性化及び促進を図る。
8 健康を支え、守るための地域づくり(地域力の向上)	【施策2】 地域活動の活性化	地域団体、学校、企業等と連携し、あいさつ運動を通して、顔の見える関係づくりを行い、良好な地域社会の構築を図ります。	公民協働推進室	コミュニティ活動支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染状況に注意しながら、引き続き「いずみあいさつ運動」の推進に努める。	【実績】 感染防止のため、あいさつの発声は控えて、清掃活動を行った。 【評価・課題】 感染対策を講じながらも活動を行うことで、コロナ禍においても、「いずみあいさつ運動」の推進を行うことができた。	新型コロナウイルス感染症の感染状況に注意しながら、引き続き「いずみあいさつ運動」の推進に努める。
			学校教育室	我が町の子どもを育てよう事業	・青色パトロールカーでの巡回による市民へのあいさつ運動の周知。(いずみあいさつ運動の日に実施) ・市内各学校の児童会・生徒会を中心としたあいさつ運動の実施。 ・いずみあいさつ運動ののぼり作成。 ・子ども見守り隊による朝のあいさつ運動や登下校時の交通安全運動の推進。	【実績】 いずみあいさつ運動の日にあわせて、青色パトロールカーで毎月巡回 ・いずみあいさつ運動ののぼりを作成し、小中学校および義務教育学校へ5枚ずつ配付 【評価・課題】 最近2年間は、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言等の影響であいさつ運動を実施できないことがあったが、今年度は毎月実施できている。見守り隊についてはボランティアの高齢化が課題となっており、今後どのように維持していくかが課題として挙げられる。	・青色パトロールカーでの巡回による市民へのあいさつ運動の周知。(いずみあいさつ運動の日に実施) ・市内各学校の児童会・生徒会を中心としたあいさつ運動の実施。 ・いずみあいさつ運動ののぼり作成。 ・子ども見守り隊による朝のあいさつ運動や登下校時の交通安全運動の推進。
		産業振興室	農業体験交流施設管理運営事業	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を十分行い、農業体験を実施する。	【実績】 いちご狩り、ブルーベリー狩り、とうもろこし狩り、そうめん流し、芋ほり、大根引き、かぶら引きなど季節ごとの農業体験を行った。 いずみ農業担い手塾を開催した。 【評価・課題】 新型コロナウイルス感染防止に留意しつつ、季節ごとに様々な農作物収穫体験を実施できた。	前年度に引き続き、季節ごとの体験を実施する。	
農空間整備・保全事業	前年度に引き続き、市民農園事業の管理運営適正化を図る。和泉市コミュニティファームも空き区画を解消するため、広報に力を入れる。		【実績】 市民農園事業について、管理運営適正化を進めている。和泉市コミュニティファームは満員になった。 【評価・課題】 和泉市コミュニティファームは指定管理の更新年度であったが、無事に更新することができた。	前年度に引き続き、市民農園事業の管理運営適正化を図る。和泉市コミュニティファームも広報に力を入れ、指定管理者を適切にバックアップする。			